

三 鑄造ノ年號

四 製造所名又ハ頭字商標ノ類

第九條 鐵管ハ鑄形ヨリ取出シタル後全體ヲ能ク研磨シ内外面ニ附着セル土砂塵埃等ヲ除去シ形狀寸法及鑄造上缺點ノ有無ヲ検査シタル上之ヲ華氏三百度内外ノ溫度ニ温メ臨時事業部技術長ノ承認スル同溫度ノ防銹液中ニ浸シ適當ノ時間ヲ經テ之ヲ取出シ乾燥セシムヘシ而シテ其包被面ハ黑色ニシテ稍光澤ヲ帶ヒ管ノ内外面共一様ニ平滑堅固ニ附着シ容易ニ剝脫シ能ハサルモノタルヘシ

第十條 鐵管ヲ研磨スルニ酸類又ハ他ノ藥品ヲ使用スルコトヲ得ス又研磨ノ後直ニ防銹液中ニ浸ス能ハサルトキハ其面ニ適當ナル防銹油ヲ塗リテ保存スヘシ

第十一條 塗料ノ十分乾燥シタル後規定ノ水壓試驗ヲ行フシ該試驗ハ管内水壓規定則チ別紙鐵管表第二號ニ屬スル全部及第一號中二十八吋二十六吋二十四吋十二吋及三吋半ノ直管及異形管ハ一平方吋ニ付キ二百六十封度其他ハ一平方吋ニ付キ百五十封度ニ達シタル後三分時間以上ヲ持續シ其時間内ニ重量凡ソ五封度ノ鐵槌ヲ以テ各部ヲ打チ漏水發汗其他ノ異狀ナキモノトス

第十二條 前條ノ試驗ヲ了リタル鐵管ハ正確ナル計量器ニ依リテ其重量ヲ檢シ白色「ベイント」ヲ以テ管ノ内面ニ字體明瞭ニ記入スヘシ

第十三條 鐵管製造中京都市ハ當該技術者ヲシテ材料及鑄造ノ事業ヲ監視シ本仕様

書ノ條項ニ適合スルヤ否ヤヲ監督セシムルコトアルヘシ此場合ニ於テ監督者ハ製造工場ノ何レノ部分ニモ自由ニ出入スルコトヲ得ヘク總テノ検査及試驗ハ其指揮及監督ニ從フヘキモノトス

第十四條 左ノ諸項ノ一ニ該當スル鐵管ハ之ヲ不合格トス

- 一 直管ノ重量規定ヨリ百分ノ三以上異形管ノ重量規定ヨリ百分ノ六以上過少ナルモノ
- 二 直管ノ厚規定ヨリ十六分ノ一吋以上異形管ノ厚規定ヨリ三十二分ノ三吋以上過少ナルモノ
- 三 管ノ内徑規定ヨリ徑十六吋以下ノ管ニアリテハ十六分ノ一吋徑十六吋以上ノ管ニアリテハ六十四分ノ五吋以上過少ナルモノ
- 四 管ノ承口ノ内徑若クハ挿口ノ外徑規定ヨリ十六分ノ一吋以上過少又ハ過大ナルモノ
- 五 斷面眞圓ナラスシテ管ノ内徑ノ差異四分ノ一吋以上ナルモノ
- 六 直管ノ長サ規定ヨリ二分ノ一吋以上不足スルモノ又ハ承口ノ深サ規定ヨリ四分ノ一吋以上過不足アルモノ
- 七 塗料ノ剝脫シタルモノ及銹蝕ヲ生シタルモノ
- 八 鑄造上缺點アリト認メタルモノ其他些少タリトモ本仕様書ニ違背スト認メタルモノ



第十五條 試驗ヲナスニ足ラスト認メタル鐵管ハ直ニ之ヲ擯却ス

第十六條 前數條ニ規定セル試驗及検査ハ供給者ニ於テ自己ノ費用ヲ以テ製造場ニ於テ施行スルノ義務ヲ負フモノトス

第十七條 鐵管授與ノ際京都市ハ自己ノ費用ヲ以テ更ニ検査ヲ行ヒ最後ノ決定ヲ與フルモノトス運搬中破損セルモノ竝ニ此場合ニ於テ發見セラレタル不合格品ハ供給者ニ於テ指定期限内ニ他ニ搬出スヘキモノトス

第十八條 鑄管ハ取扱及運搬ノ際表面ノ塗料ヲ毀損セサル様注意ヲナスヘシ又運搬中鐵管ノ内部ニ小鐵管又ハ他ノ物品ヲ挿入スヘカラス

第十九條 仕様書第十四條ニ該當スル鐵管ノ中技術長ニ於テ使用上差支ナシト認ムルモノニシテ用途アル分ニ限り特ニ減價ヲ以テ採用スルコトアルヘシ

第二十條 鐵管ノ寸法ハ特ニ指定セルモノ、外總テ呎吋ニシテ重量中噸トアルハ總テ英噸(二千二百四十封度)ヲ意味スルモノトス

第二十一條 本仕様書附錄鐵管表並分納表又ハ圖面中ニ記載シアル數字ニ誤謬アルヲ發見シタルトキハ隨時之ヲ訂正スルモノトス

第二十二條 鐵管ハ内國製外國製ノ何レニテモ差支ナシ但内國製ノ場合ニハ供給者自身ノ製造所ニ於テ鑄造シタルモノニ限り外國製ノ場合ニハ其製造所ハ京都市ノ承認ヲ得タルモノニ限ル而シテ同一供給者ニ於テ異リタル製造所ノ製品ヲ混入シ

テ納入スルヲ許サス  
第二十三條 本仕様書ノ條項ニ關シ疑義ヲ生シタルトキハ總テ臨時事業部技術長ノ決スル所ニ據ルモノトス

鐵管供給契約書案

一 鑄鐵直管 何英噸(何本)

但種別及員數内譯ハ別紙鑄鐵管分納表ノ通  
右供給代金 一英噸ニ付金

一 鑄鐵異形管 何英噸(何本)  
但種別及員數内譯ハ別紙鑄鐵管分納表ノ通  
右供給代金 一英噸ニ付金

合計供給代金  
此契約保證金

但代用何公債額面何程  
内譯

引渡期限 別紙鑄鐵管分納表ノ通り  
引渡場所 京都市岡崎公園内鐵管試驗工場

内



右金額ヲ以テ前記ノ鑄鐵管供給ヲ引受候ニ就テハ明治四十二年一月二十五日京都市公告第六號工事施行規程及左記追加契約事項ヲ遵守シ且仕様書圖面ノ通期限内ニハ必ス引渡可致仍テ契約書差出候也

明治年月日

住所

供給人

京都市參事會市長宛

追加契約事項

第一條 京都市ハ都合ニ依リ契約鐵管ノ數量管種等ヲ増減變更スルコトアルヘシ此場合ニ於テ其増減又ハ變更ノ數量カ重量ニ於テ全額ノ百分ノ二十ヲ超過セス且其通知カ製造所カ外國ノ場合ニハ五箇月製造所カ内地ノ場合ニハ三ヶ月以前ニ發セラレタルトキハ供給人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス每期分納ノ數量管種ヲ變更セントスルトキ亦同シ

右ノ場合ニ於テ供給代金ノ増減ハ契約單價ニ依リテ之ヲ計算スルモノトス

第二條 代金ハ仕様書第十九條ニ該當スルモノヲ除キ總テ規定重量ニ依リ契約單價ヲ以テ算定スルモノトス

追加契約事項

第三條 代金ハ引渡ヲ完了シタル一納期毎ニ其全額ヲ支拂フモノトス但每期引渡完了以前ニ於ケル内渡金ハ引渡済ニ對スル代金ノ十分ノ九トス

第四條 第三期分迄ノ引渡ヲ完了シタル後ハ支拂代金高ニ相當スル契約保證金ヲ還付スルコトアルヘシ

鐵管屬具購入仕様書

制水瓣

鐵管屬具購入仕様書

第一章 制水瓣

第一條 制水瓣ハ鑄鐵及砲金等ヨリ製造スルモノニシテ其構造使用材料形狀寸法及員數等ハ本仕様書附屬ノ明細書及圖面ニ示スカ如シ

第二條 制水瓣ハ其製作最上等ニシテ兩面高壓ニ適シ内部摺合部ハ四個ノ砲金製圖面ニヨリテ相接着シ之ヲ全開スルトキハ通水ノ面積ハ水瓣ノ稱呼寸法ヲ直徑トシテ畫シタル面積ニ均シキ様製造スヘシ

第三條 瓣軸ハ總テ砲金製ニシテハウ井ットウォルス氏定則ノ右開角形螺旋ヲ截刻シ弁ノ全昇程間ハ真直線ニシテ且最モ圓滑ナル運動ヲナスヘキモノタルヘシ



填料管ハ最良ノ填料ヲ以テ之ヲ充シ其壓蓋ハ鑄鐵ヲ用ヒ軸及填料ニ接スル部分ハ砲金ニテ製造スルモノトス

第四條 突縁ノ接着面及砲金製圖面其他互ニ相接着スル部分ハ十分平滑ニ旋盤ヲ以テ仕上ケ且ツ砲金製ノ部面ハ鑄物ノ凹處ヘ挿込ム様充分叮嚀ナル摺合セテ爲スヘシ

第五條 制水瓣ハ瓣戸ヲ閉テ兩側各別ニ一平方吋ニ付百五十封度ノ水壓試驗ヲ行フヘシ又瓣戸ヲ開キ二百六十封度ノ水壓試驗ヲ行フモノトス

第六條 前條試驗ニ對シ鑄鐵體ハ勿論砲金面各部相接着スル所等ヨリ少シモ漏水發汗等セサルモノトス

排氣瓣

第二章 排氣瓣

第七條 排氣瓣ハ單氣瓣複氣瓣ノ二種ニシテ其構造使用材料形狀寸法員數等ハ本仕様書附屬ノ明細書及圖面ノ通りタルヘシ

第八條 單氣瓣ハ樹膠球ヲ用ヒ球ノ直徑ハ圖面ニ示ス通りタルヘシ球ノ下ナル頸部ニ於テハ砲金製ノ瓣ヲ設ケ又枝管ヘ接合ノ爲メ下端ニ突縁ヲ附シ右瓣ト球トノ間ニ受板ヲ置キ且氣口ヲ被ヒ大氣排洩ノ方向ニ轉シテ橫向セシムル爲メ螺旋付ノ蓋ヲ備フヘシ

第九條 複氣瓣ハ四吋六吋ノ二種ニシテ共ニ樹膠球ヲ用ヒ球ノ直徑ハ圖面ニ示スカ如クナルヘシ右枝管ニ接合ノ爲メ下端ニ突縁ヲ付シ且ツ氣口ヲ被ヒ大氣排洩ノ方

向ヲ轉シテ橫向セシムル爲メボールト付ノ覆蓋ヲ備フヘシ但六吋ノモノハ砲金製ノ螺旋軸ヲ作り下部ニ平板瓣ヲ具フヘシ

第十條 球ハ毫モ不正曲ナルヘカラス且一平方吋ニ付二百六十封度ノ壓力ヲ受クルコト一時間ノ後壓力受點ノ記號ヲ留ムヘカラス

第十一條 各互ニ相接合スル部分ハ平滑ニ旋盤ヲ以テ仕上ケ且ツ砲金製瓣ノ接着面ハ充分叮嚀ニ摺合セテ爲スヘシ

第十二條 排氣瓣ハ一平方吋ニ付二百六十封度ノ水壓試驗ヲ行フモノトス而シテ該試驗ニ對シ鑄鐵體ハ勿論砲金面各部相接着スル所等及球ト革トノ接着面等ヨリ少シモ漏水發汗等セサルモノトス

防火栓

第三章 防火栓

第十三條 防火栓ハ鑄鐵及砲金等ヨリ製造スルモノニシテ其構造使用材料形狀寸法及員數等ハ渾ヘテ本仕様書ニ附屬シタル明細及圖面ノ通りタルヘシ

第十四條 防火栓ハ渾ヘテ球ヲ用ヒス砲金製ノ螺旋軸ヲ作り下部ニ平板瓣ヲ設ケ其開閉ニ依リ通水ヲ制御セシムル裝置トス

第十五條 各互ニ相接着スル部分ハ充分平滑ニ旋盤ヲ以テ仕上ケ且ツ瓣ノ接着面ハ充分叮嚀ニ摺合ハセテ爲スヘシ

第十六條 防火栓ハ平板瓣ヲ閉テ一平方吋ニ付二百六十封度ノ水壓試驗ヲ行ヒ且ツ平板瓣ヲ開キテ同壓力ノ水壓試驗ヲ行フモノトス



材量及試験

第十七條 前條試験ニ對シ鑄鐵體ハ勿論砲金面各部相接着スル所等ヨリ少シモ漏水發汗等セサルモノトス

第四章 材量及其試験

第十八條 總ヘテ鑄物ハ砂竅氣泡罅裂爐滓其他鑄造上ノ缺點ナク又如何ナル場合ト雖モ栓若クハ其他ノ方法ヲ以テ夫等ノ缺點ヲ補填セサルモノトス

第十九條 鑄鐵ハ總テ良質ノ「ピク、アイオン」ヲ用ヒ其破碎面ハ灰色ニシテ粒狀緻密全體同質ニシテ爐滓又ハ粗雜ノ金屬ヲ含有セス且ツ其質強靱ニシテ容易ニ切斷シ又ハ鑽孔シ得ルモノタルヘシ

第二十條 砲金ノ化合ハ銅八、錫一、亞鉛一、ノ割合ヲ以テ精製スルモノトス

第二十一條 接合用「ボルト」ハ其頭ヲ鐵條ヨリ打出シニシ六角形ノ「ヘッド」及「ナット」ヲ具ヘ總テ最良ノ「マイルド、スチール」ヲ用ヒ「ホウソウ、ウオルス」氏定則ニ依リ製作スヘシ

第二十二條 鑄造ハ鑄造ノ際供試體ヲ作り一平方吋ニ付一万七千封度以上ノ強度ヲ有シ又長二十六吋幅二吋厚一時ノ供試體ヲ徑間二十四吋ノ支脚上ニ平ニ桁架シ中央ニ荷重シ其重量二千封度以上ニ耐ヘ且中央ニ於テ十六分ノ五吋以上ノ撓度アルヲ要ス

塗方及雜件

第五章 塗方及雜件

第二十三條 鑄物ハ鑄形ヨリ取出シタル後全體ヲ能ク研磨シ内外面ニ附着セル土砂

塵埃等ヲ除去シ鑄造上缺點ノ有無ヲ検査シタル上華氏三百度内外ノ溫度ニ溫メ臨時事業部技術長ノ承認スル同溫度ノ防銹液中ニ浸シ適當ノ時間ヲ經テ之ヲ取出シ乾燥セシムヘシ而シテ其包被面ハ黑色ニシ稍光澤ヲ帶ヒ内外面共一様ニ平滑堅固ニ附着シ容易ニ剝脫シ能ハサルモノタルヘシ

第二十四條 鑄物ヲ研磨スルニ酸類又ハ他ノ藥品ヲ使用スルコトヲ得ヌ又研磨ノ後直ニ防銹液中ニ浸ス能ハザルトキハ其面ニ適當ナル防銹油ヲ塗リテ保存スヘシ

第二十五條 各品ノ外面ニハ一定ノ場所ニ約八分ノ一時ノ高サニ次ノ文字及記號ヲ鑄出スヘシ

一 京都市水道徽章



二 各種別毎ニ鑄造ノ番號但不合格品ノ番號ハ繰返スコトヲ得ヌ

三 鑄造ノ年號

四 製造所名又ハ頭字商標ノ類

第二十六條 總テ同種類ノ物品ニシテ同大ノモノ、各部ハ互ニ之ヲ交換使用スルコトヲ得ヘキモノタルヘシ

第二十七條 鐵蓋ノ製造ハ第十八條第十九條第二十三條第二十四條ヲ準用シテ鑄造スヘキモノトス



鐵管屬具明細書

第二十八條 各物品ハ取扱及運搬ノ際表面ノ塗料ヲ毀損セサルハ勿論荷造ヲ嚴重ニ  
 ナシ破壊損傷等ナキ様注意スヘシ  
 第二十九條 本仕様ノ條項又ハ圖面ニ示セル構造其他ニ關シ疑義ヲ生シタルトキハ  
 總テ臨時事業部技術長ノ決スル所ニ據ルモノトス

鐵管屬具明細書

品目	形狀	內徑	個數	單價金額	摘要
制水瓣		一八吋	一二		內五個淨水用
同		一六吋	四		
同		一四吋	一		
同		一二吋	二五		內五個淨水用
同		一〇吋	六		內一個淨水用
同		九吋	一八		
同		八吋	四五		內五個淨水用

品目	形狀	內徑	個數	單價金額	摘要
同	六吋	六吋	一五八		內八個淨水用
同	五吋	五吋	八七		
同	四吋	四吋	一二二		內二個淨水用
同	三吋	三吋	一二一		內一個淨水用
排氣瓣	複氣瓣	六吋	三七		
同	同	四吋	二九		
同	單氣瓣	三吋	三一		
防火栓	三吋	三吋	五〇〇		
水瓣鐵蓋	大形		一一		
同	小形		五六〇		
防火栓鐵蓋			五〇〇		

備考

一 制水瓣及排氣瓣ノ軸頭ニ附スルカッブノ外角ノ大サハ十四吋以上十八吋迄  
 三吋半以上十二吋迄ノ二種ニ區別スルモノトス



一 鐵蓋ノ表面ニアル文字及菱形其他ノ鑄出ノ部分ハ總ヘテ十六分ノ三吋ノ高  
サニ鑄造スヘシ

制水瓣二十吋以上並  
ツトストック類購入仕  
様書

### 制水瓣(二十吋)並「ヘッドストック」類購入仕様書

- 第一條 購買スヘキ制水瓣其他ハ「グレンシフイールド、エンド、ケネデー」鐵工所又ハ「ゼー  
ブレークボロウ、エンド、ソンス」製造製品ニシテ其種別、形狀並數量等ハ別紙附屬ノ甲  
號乙號明細書ノ通トス
- 第二條 制水瓣ハ其製作最上等ニシテ兩面共高壓ニ適シ内部摺合部其他重要ナル部  
分ハ砲金ヲ用ヒ之ヲ全開シタルトキハ水瓣ノ稱呼寸法ヲ直徑トシテ畫シタル圖面  
積ニ等シキ通水路ヲ有スルモノタルヘシ
- 第三條 齒軸ハ總テ鍛ヘタル青銅又ハ砲金ニシテ右開角形螺旋ヲ截刻シ傘ノ全昇程  
間ハ真直線ニシテ且ツ最モ圓滑ナル運動ヲ爲スヘキモノタルヘシ
- 第四條 制水瓣鑄鐵部ハ總テ最良ノ銑鐵ヲ用ヒテ鑄造シ氣泡砂窩其他ノ缺點アルヘ  
カラス又栓或ハ其他ノ方法ニ依リ缺點ヲ補填スヘカラス

第五條 總ヘテ制水瓣ハ旋盤ニテ適當ニ仕上ケタル二個ノ突縁ヲ有シ別紙圖面ニ示  
セル鑄鐵管ノ突縁ト接續シ得ル様規定ノ個所及數ノ緊釘孔ヲ鑽穿シ且ツ必要ナル  
數及大サヲ有スル鍊鐵製接續用緊釘及螺旋止ヲ附屬スヘシ

第六條 總テ制水瓣ハ其包筐上面適當ノ位置ニ鑄造ノ年號製造番號製造所名又ハ頭  
字商標ノ類並別紙圖面ニ示セル京都市水道徽章ヲ適當ナル高サト大キサニ鑄出ス  
ヘシ

第七條 制水瓣ノ鑄鐵部ハ内外面共ドクトル、アングラス、スミス、パテント、コンボジシ  
ヨン又ハ適當ナル防銹液ヲ被包セシムヘシ而シテ其被包面ハ黑色ニシテ光澤ヲ帶  
ビ堅固ニ附着シテ容易ニ剝脱シ能ハザルモノタルヘシ

第八條 乙號明細書ニ示セル制水瓣ハ總テ高壓力ノ下ニ其開閉ヲ容易ナラシムル爲  
メ十分ナル強度ヲ有スル齒輪聯動裝置ヲ備ヘ且ツ適當ニ製作シタル砲金製「アンチ  
フリクシヨン、ローラ」ヲ具備スルカ又ハ適當ナル大サノ「バイパス」並ニ瓣ヲ附屬セシ  
メ瓣軸ノ軸頭ニハ各種ヲ通シテ同大ノ軸帽ヲ裝置スヘシ

第九條 甲號明細書ニ示セル「ヘッドストック」ハ總テ其附屬スル制水瓣ノ開閉ヲ容易  
ナラシムル爲メ十分ナル強度ヲ有スル齒輪聯動裝置並「ハンド、ホイール」ヲ備ヘ且ツ  
明細書ニ依リ瓣軸ト「ヘッドストック」ノ「スピンドル」トヲ連絡スルニ必要ナル長サ、大  
キサ及強度ヲ有スル鍊鐵製「コンネクティング、ロッド」並開閉指示器ヲ附屬セシムヘシ

第十條 「ヘッドストック」ノ鑄鐵部ハ光明丹又ハ適當ナル錆止ヲ塗り白色「ペイント」ヲ



用ヒテ表面ヲ塗り仕上グベシ

第十一條 總テ制水機ハ受渡場所即チ京都市岡崎町鐵管試驗工場ニ到着ノ上本市ノ費用ヲ以テ水壓試驗ヲ行フヘシ該試驗ハ弁ヲ閉チ其兩面各別ニ明細書記載ノ水壓試驗ヲ爲シ又弁ヲ全開シ同様ノ試驗ヲ爲スモノトス

前項ノ試驗ニ於テ弁ノ接合部漏水スルトキハ必要ナル更正ヲナサシムヘシト雖モ鑄鐵部ニ漏水アルトキハ總テ之ヲ擯却スヘシ

第十二條 本仕様書ノ條項又ハ明細書記載ノ事項ニ關シ疑義ヲ生シタルトキハ臨時事業部技術長ノ決スル所ニ據ルモノトス

鐵管并屬具運搬請負契約案

鐵管并屬具運搬請負契約案

京都市水道用鑄鐵管并屬具ノ運搬ヲ請負致候ニ就テハ左記條項及仕様書確守ノ證トシテ契約書提出候也

第一條 請負人ハ本契約書ニヨリ京都市水道淨水用及配水用ノ鐵管并ニ屬具ノ運搬ヲ請負ヒタルモノトス

第二條 本請負ノ運搬賃金ハ別紙運搬賃金表ニ據リ毎月一回前月二十一日ヨリ其月二十日迄ニ運搬シタル物件ノ重量ニ相當スル金額ヲ仕拂フモノトス

第三條 請負人ハ仕様書第六條ニ依リ引渡ヲ了リタルトキハ其物件ニ對スル領收證ヲ受取り之ヲ發送主任者ニ差出スモノトス

物件引渡ヲ爲スモ前項ノ領收證ナキモノニ對シテハ運賃ノ仕拂ヲ爲サルモノトス  
第四條 物件運送引渡ノ後更ニ積戻シ又ハ移送ヲ要スル場合ノ運搬賃金ハ更ニ協定ノ上仕拂フモノトス

第五條 鐵管及屬具ノ運賃單價ハ總テ一英噸トシ重量ハ實際ニ於テ多少ノ増減アルモ總テ規定重量ニヨリ計算スルモノトス

鐵管ニ於テ管身ヲ切斷セシモノアルトキハ規定ノ比例ヲ以テ其一本ノ重量ヲ算定スルモノトス

第六條 鐵管及屬具ヲ運搬取扱中ニ損失又ハ破損シタルトキハ受負人ハ原價ニ一割ヲ加ヘタル額ヲ以テ之ヲ辨償スルモノトス但毀損シタル鐵管及屬具ニシテ修理ノ上使用ニ堪フルモノハ市ニ於テ之ヲ修理シ其費用及其棄却スベキ部分ニ對シ辨償金ヲ徴收ス

前項ノ辨償金及修理ニ要スル費用ハ請負人ニ仕拂フベキ運賃ヨリ控除シ若シ不足スルトキハ契約保證金ノ内ヨリ控除シ又ハ追徴スルモノトス  
引渡領收書受領後ニ於テ發見セラレタル破損ニ對シテモ受負人ハ前項ノ義務ヲ負



フモノトス

一 搬取扱中破損シタル鐵管及屬具修理ノ爲メ積戻シ又移送スルトキハ其運賃ハ支拂ハサルモノトス

第七條 請負人ニ於テ仕様書第四條ノ通知ヲ受ケ指定ノ時日以内ニ運送シ終ラヌシテ工事ニ差支ヲ來スト認メタルトキハ其運滞シタル部分ニ對スル貸金ヲ支拂ハサルモノトス

第八條 請負人ニ貸與セシ器具機械ヲ紛失又ハ毀損シタルトキハ同一ノ現品ヲ以テ主任者ノ指示スル期限内ニ辨償スベシ若シ辨償セサルトキハ市ニ於テ之ヲ修理又ハ購入シ請負人ニ仕拂フヘキ運賃ヨリ其費用ヲ控除ス若シ不足スルトキハ契約保證金ノ中ヨリ控除シ又ハ追徴スルモノトス

第九條 請負人ハ本契約ニ依ル京都市ノ認定及處分ニ對シ異議ヲ述ヘ又ハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第十條 請負人ハ契約保證金トシテ金七百圓也ヲ京都市ニ納付スルモノトス

第十一條 左記各號ノ一ニ該當スルトキハ京都市ハ本契約ヲ直ニ解除スルコトヲ得ルモノトス

一 請負人ガ本契約ニ違反シタルトキ又ハ契約ノ履行ヲ怠リタル時

二 請負人ガ惡意又ハ重過失ニヨリ運搬物件ヲ粗雑ニ取扱ヒタリト認ムル時

三 第六條ノ行爲三回以上ニ亘リタル時

第十二條 前條ニヨリ契約ヲ解除シタル場合ニ於テハ契約保證金ハ全部京都市ノ所得トス

第十三條 請負人ニ於テ本契約ノ義務ヲ履行セサルトキハ市ハ自ラ代テ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ執行セシムルコトヲ得

第十四條 前條ニヨリ生シタル費用ハ請負人ノ負擔トシ其費用ハ貸金ヨリ充當シ尙不足スルトキハ契約保證金ヨリ控除又ハ追徴スルモノトス

第十五條 請負人ハ市ノ承認ヲ得スシテ其請負ニ關スル權利ヲ讓渡シ又ハ義務ヲ他人ニ移轉スルコトヲ得ス

第十六條 本契約ハ明治四十五年三月三十一日迄其ノ効力ヲ有スルモノトス

### 鐵管并屬具運搬仕様書

鐵管并屬具運搬仕様書

第一條 本仕様書ニヨリ請負ヒタル鐵管并ニ屬具ノ運搬ハ市内岡崎町鐵管試驗工場ヨリ指定ノ工事現場及假置場へ運送配置スルモノトス

第二條 運搬スベキ鐵管并ニ屬具ノ種類員數ハ別紙第一號附屬書ノ通り豫定スト雖モ工事ノ都合ニヨリ増減スルコトアルヘシ

第三條 運搬スヘキ箇所及其數量等ハ概畧別紙第二號附屬書ノ通ト雖モ實際運搬ニ際シテハ多少ノ變更増減アルモノトス

第四條 鐵管并屬具ノ運搬ヲ要スルトキハ鐵管試驗工場ニ於テ其種類員數送付スヘ



キ場所并日時等ヲ定メ前日又ハ二日以前ニ其旨請負人ニ通知スルモノトス

第五條 運搬スヘキ各種大小長短ノ鐵管并ニ屬具ハ鐵管試驗工場ノ一定ノ場所ニ於テ並列又ハ積疊ノ儘請負人ニ引渡スモノトス

第六條 請負人ハ鐵管試驗工場ニ於テ受取リタル鐵管ヲ指定ノ工事現場へ配送ノ上係員ノ指揮ニ從ヒ敷設線路ノ溝側ニ並列シ引渡シヲ爲スモノトス

第七條 街路ニ並列スヘキ鐵管ハ必ス縦列ニシテ受口ト挿口トヲ相接シ配置スヘキモノトス

第八條 請負人ニ於テ第四條ノ通知ヲ受ケタルトキハ指定ノ日時ニ必ス其箇所ニ配送スヘキモノトス但一日ニ運搬スヘキ數量ハ五十英噸ヲ超過セサルモノトス

第九條 如何ナル場合ト雖モ運搬中ノ鐵管ヲ途中ニ積卸シ又ハ他ニ一時假置等ヲ爲ス可カラス

第十條 鐵管運搬ノ際ハ表面ノ塗料ヲ毀損シ又ハ鐵管ノ内部ニ小鐵管及他ノ物品ヲ挿入スヘカラス

第十一條 鐵管運送引渡ノ後更ニ積戻シ又ハ移送ヲ要スルトキハ受負人ニ於テ異議ナク速ニ之ヲ運搬スルモノトス

第十二條 運搬ノ方法ハ請負人ノ便宜ニ任スト雖モ勉メテ叮嚀ニ取扱フヘシ若シ危険ヲ冒スカ又ハ運搬時間ヲ徒費スル虞アリト認ムルトキハ敷設工事主任ニ於テ其

方法ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ但運搬ニ要スル器具機械等ハ總テ請負人ノ負擔トス

第十三條 鐵管運搬請負人ハ該運搬ニ係ル順序方法等ヲ詳細敷設工事係主任ニ届出テ承認ヲ受クヘシ

第十四條 鐵管試驗工場ニ於テ請負人ニ引渡シタル鐵管ハ敷設工事係ヘ引渡チ了スル迄ハ其工場ニアルト運搬中ニアルトヲ問ハズ總テ請負人ニ於テ其責ニ任スヘキモノトス但敷設工事係ヘ引渡後ト雖モ破損管ヲ發見シタルトキハ請負人ニ於テ責

ヲ負フモノトス

第十五條 水管設敷工事ノ緩急ニ應ジ晝夜雨雪ノ區別ナク運搬セシムルコトアルヘシ此場合ニ於テ請負人ハ異議ヲ申立ツルコトヲ得サルモノトス

第十六條 請負人ハ鐵管試驗工場内指定ノ箇所ニ事務所ヲ設置シ毎日作業現場ニ出張シテ運搬職夫ノ取締并ニ運搬ニ關スル處理ヲ爲スヘキモノトス但自己ガ出頭シ

能ハサルトキハ相當代理人ヲ差出シ其旨主任者ニ届出ツヘシ

第十七條 當該吏員ニ於テ前條但書ノ代理人ヲ不適當ト認メ若クハ使用ノ職夫ニシテ不都合ノ行爲アリト認ムルトキハ請負人ニ對シ其取換又ハ使役ノ差止ヲ命スルモノトス

第十八條 鐵管積込ノ際ハ鐵管試驗工場ニ設備シアル輕便軌條及車輛ヲ使用セシムルモノトス



前項ノ器具ヲ使用セントスルトキハ主任者ノ許可ヲ受ケ終リタルトキハ叮嚀ニ掃  
除ヲ加ヘ係員ノ點檢ヲ經テ之ヲ還付スヘシ

第十九條 請負人ニ貸與シタル器具ハ主任者ノ許可ヲ受ケスシテ他ヘ持行キ又ハ他  
人ニ轉貸スルヲ許サス

第二十條 運搬上ニ關シ鐵管試驗工場及配水係ノ現場員ヨリ發シタル指揮命令ニ對  
シテハ請負人ハ服從ノ義務ヲ負フモノトス

第二十一條 請負事業ニ使用スル職夫ニ於テ負傷又ハ死亡シタルトキハ請負人ニ於  
テ相當ノ手當ヲ爲スモノトス

第二十二條 運搬作業ノ爲メ街路取締規則及荷車取締規則其他ノ法規ニ抵觸セル行  
爲アリタルトキハ請負人ニ於テ全然其責ヲ負フモノトス

第二十三條 鐵管運搬ノ際道路橋梁其他ノ構造物ヲ破損シタルトキハ請負人ニ於テ  
賠償若クハ修理ノ義務ヲ負フモノトス

第二十四條 本仕様書ニ關シ疑義ヲ生シタルトキハ臨時事業部技術長ノ決スル所ニ  
據ルモノトス

鐵管試驗內規

第一條 本市水道鐵管ノ試驗並ニ檢査ハ總テ岡崎町鐵管試驗工場内ニ於テ之ヲ行フ  
モノトス

第二條 鐵管試驗員ハ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織スルモノトス  
技師 一名 事務員 若干名  
技手 若干名 工手雇 若干名

第三條 鐵管ハ左ノ順序ニ據リ仕様書ノ規定ニ從ヒ試驗又ハ檢査ヲ爲スモノトス

第一 管體檢査  
第二 重量試驗  
第三 水壓試驗

第四條 管體檢査ニ於テ合格セサルモノハ重量水壓試驗ヲ行ハス重量試驗ニ於テ合  
格セサルモノハ水壓試驗ヲ行ハサルモノトス

第五條 合格不合格ヲ問ハス其試驗成績ハ所定ノ檢査簿ニ登記シ相當ノ處置ヲ爲ス  
モノトス

第六條 合格管ハ總テ白色ペイントヲ以テ管體檢査ハ良、重量試驗ハ重、水壓試驗ハ水  
ノ字ヲ管身ニ記載スルモノトス



第七條 鐵管屬具ニ對スル検査及試験モ亦本規定ヲ準用スルモノトス

水道課職夫人夫取締規程

水道課職夫人夫取締規程

第一條 水道工事ニ従事スル諸職工及人夫ノ取締ハ直備ト供給ト之間ハス總テ本規程ニ據ルモノトス

第二條 諸職工及人夫ニハ工場ニ於テ左ノ事項ヲ嚴守セシムルモノトス

- 一 從業中係員ノ許諾ナクシテ外來人ニ面談スヘカラス
- 一 恣ニ受持工場ヲ離レ又ハ係員ノ許諾ナクシテ退場スヘカラス
- 一 酒氣ヲ帶ヒ又ハ酒類ヲ携帯シテ入場スヘカラス
- 一 從業中喫煙又ハ飲食スヘカラス
- 一 爆發藥其他兇器ヲ携帯スヘカラス
- 一 喧嘩口論鬭爭其他喧嘩ニ涉リ若クハ風俗衛生ヲ害スル行爲ヲナスヘカラス
- 一 休憩時間内ト雖モ工場外ニ出ルコトヲ得ス
- 一 便所外ニ大小便ヲナスヘカラス

一 工事ノ上ノ所要ノ材料要品ト雖モ係員ノ許諾ナクシテ猥リニ使用スヘカラス

一 賭博又ハ之ニ類似ノ行爲ヲナスヘカラス

一 休憩及食事等ハ總テ一定ノ人夫小屋ニ於テ爲シ他ノ建物内ニ於テナスヘカラス

一 前記以外係員ニ於テ禁止シタル事項

第三條 工事場内ノ諸職工及人夫ニ飲食物其他ノ物品ヲ販賣スヘキ目的ヲ有スル諸

商人ヲ出入セシムヘカラス但時宜ニ依リテハ酒保ヲ公許スルコトアルヘシ

第四條 諸職工及人夫ノ休業ハ一月一日二日三日二月十一日(紀元節)十一月三日(天長

節)十二月三十一日トス但工事ノ都合ニヨリ廢休或ハ臨時休業スルコトアルヘシ

第五條 職夫及人夫ノ始業終業及休憩ハ號鈴ヲ以テ報スヘキモノトス

第六條 受負工事ニ従事スル職夫ノ取締モ亦本規程ヲ準用スルモノトス

工事用人夫供給仕様書

工事用人夫供給仕様書

第一條 本供給人夫ハ水道工事ニ使役スルモノトス

第二條 供給人夫ノ豫定總員數ハ約何人但工事ノ都合ニ依リ豫定員數ヲ増減スルコ



トアルヘシ

第三條 供給人夫ハ年齢約二十歳以上四十歳以下ノ男子ニシテ身體強壯技能熟練能ク各種ノ勞働ニ耐フルモノタルヘシ

女人夫ニ對シテモ亦前項ヲ準用ス

第四條 供給人夫ハ可成同一ノモノトシ且工車係員ニ於テ適當ト認メタルモノニ限ルモノトス

第五條 供給期限ハ明治四十三年一月四日ヨリ明治四十三年四月三十日迄トス但都合ニ據リ期限ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第六條 供給人夫毎日ノ使役員數ハ前日中ニ請負人ニ通知シ所定ノ人員通知簿ニ捺印セシムルモノトス但其員數五十人以上ノ増加ヲ要スル場合ハ三日以前ニ通知スルモノトス

第七條 人夫服役時間ハ左ノ通りトス

期 間	始 業	終 業	服 役	勞 働	休 憩
三月ヨリ 六月マデ	午前七時	午後五時	十時間	九時間	一時間 午前十五分間 正午三十分間 午後十五分間
七月ヨリ 九月マテ	同 六時卅分	同 五時卅分	十一時間	九時間半	一時間半 正午一時間 午後十五分間

十月ヨリ 十一月迄	同 七時	同 五時	十時間	九時間	一時間 午前十五分間 正午三十分間 午後十五分間
十二月ヨリ 翌二月迄	同 七時卅分	同 四時卅分	九時間	八時間	一時間 午前十五分間 正午三十分間 午後十五分間

但工事其他ノ都合ニ依リ時間ヲ増減變更スルコトアルヘシ

第八條 工事ノ都合ニ依リ規定服役時間ニ拘ハラス工程ヲ定メ課程勞働ヲ爲サシムルコトアルヘシ此場合ニ於テ請負人ハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第九條 供給人夫ハ毎日門衛所ニ於テ入場票ヲ受ケ服役時間ヨリ十五分前ニ入場シ係員ノ點檢竝ニ就業券ノ交付ヲ受クヘシ

第十條 就業券ハ賃金支拂ノ證券ナレハ服役ノ際ハ必ス携帯シ且ツ毀損紛失セサル様町嚙ニ保持スヘシ

第十一條 請負人ハ毎日工事場ニ出頭シ諸事係員ノ指揮ヲ受クヘシ但病氣其他ノ事故アル場合ハ代理人ヲ定メ連署ノ上届出ツヘシ

第十二條 工事監督者ニ於テ不適當ト認ムタル人夫ハ直ニ取替ヲ命スルモノトス

第十三條 供給人夫ニシテ工事監督者ノ命令ニ従ハス又ハ水道課職工人夫取替規程ニ依リ禁止セラレタル事項竝本仕様書ノ條項ニ違背スル行爲アリト認メタルトキ



工事用人夫供給請負追加契約要項

ハ直ニ退場ヲ命スヘシ  
 一度退場ヲ命セラレタル人夫ハ再度供給スルコトヲ得ス  
 第十四條 供給人夫ノ勞働ニ必要ナル工用具ハ之ヲ貸與ス  
 第十五條 前條貸與物品ハ工場外へ携帶スルコトヲ得サルハ勿論毎日終業ノ際叮嚀ニ掃除ヲ加ヘ係員ノ點檢ヲ經テ之ヲ還付スヘキモノトス  
 第十六條 人夫ハ服役中恣ニ退場スルコトヲ得ス若シ疾病其他ノ事故ヲ生シ歸宅ヲ請ハントスルトキハ其旨届出許可ヲ受クヘシ  
 第十七條 供給人夫ニシテ從業中負傷若クハ死亡シタルトキハ請負人ニ於テ相當ノ手當ヲ爲スモノトス  
 第十八條 本仕様書ノ條項ニ關シ疑義ヲ生シタルトキハ臨時事業部技術長ノ決スル所ニ據ル

工事用人夫供給請負追加契約要項

第一條 雨天其他ノ事故ニ依リ工事中止シタルトキハ其賃金ハ服役時間一時間未満ノトキハ十分ノ二ヲ支給シ爾後一時間ヲ増ス毎二十分ノ一ヲ増ス八時間以上ハ全額ヲ支給ス三十分ニ充タサルモノハ切捨テ三十分以上ハ切上クルモノトス  
 第二條 人夫各自ノ都合ニ依リ退場ヲ申出ツル場合若クハ始業時間ニ遅刻出場セシトキハ一時間十分ノ一ノ割合ヲ以テ其賃金ヲ支給シ端數ハ總テ切捨トス

第三條 工事ノ都合ニ依リ服役時間後引續キ使役スルトキハ午後七時迄ハ一時間ニ付一步午後七時ヨリ翌午前就業時間迄ハ一時間ニ付一步五厘ノ割合ヲ以テ賃金ヲ支給ス三十分ニ充タサルモノハ切捨テ三十分以上ハ切上クルモノトス  
 第四條 從業後人夫各自ニ就業券ト引替ニ賃金歩札ヲ交付ス受負人ハ其歩札ニ示ス賃金ヲ歩札ト引替ニ各自ニ仕拂ノ上該歩札ヲ取經メ當日係員へ返納シ使役證明書ヲ受取ルモノトス  
 第五條 就業券ヲ所持セサル人夫ハ如何ナル理由アルモ歩札ヲ交付セス且ツ歩札ト就業券ノ交換ハ當日限リトス  
 請負人又人夫ハ工事係員ヨリ交付スル歩札ニ關シテハ異議ヲ申立ツルコトヲ得サルモノトス  
 第六條 工事ノ種類ニ依リ又ハ特ニ精勵シタル者ニ限り出張所主任ノ見込ヲ以テ相當ノ増歩ヲ支給スルコトアルヘシ  
 第七條 出役者ニシテ業務ヲ怠リタルトキハ工場主任ノ見込ニ依リ歩切ヲ以テ其賃金ヲ減スルモノトス  
 第八條 請負人ハ毎日工事事務所ヨリ交付セシ使役證明書ノ員數ヲ七日目毎ニ集計シ賃金請求書ヲ作り該證明書ヲ添ヘ水道課ニ差出スヘシ  
 第九條 左ノ一ニ該當スルトキハ其人夫ニ對シテ當日ノ賃金ヲ支給ヒサルモノトス  
 一 退場ヲ命シタル人夫ヲ再ヒ出場セシメタル時



- 一 不都合ノ行爲アリト認メ退場ヲ命シタル時
- 一 従業中恣ニ退場シタル時
- 一 就業券ヲ所持セスシテ従業シタル時
- 第十條 請負人又ハ人夫ニシテ命令以外ノ行爲ニ依リ工事上ニ損害ヲ生セシメタルトキハ請負人ニ於テ賠償ノ責ニ任スルモノトス
- 貸與ニ係ル工用器具機械ヲ疎虞懈怠ニ依リ破損亡失セシメタルトキモ亦前項ニ同シ
- 前各項ノ賠償金ハ京都市ノ認定セル金額ニ依ルモノトス
- 第十一條 請負人ニシテ仕様書第六條ノ通知ヲ受ケナカラ當日ノ出場員數ニ不足ヲ生セシメタルトキハ不足員數一人ニ付金拾錢宛ノ割合ヲ以テ違約金ヲ徴收スヘキモノトス
- 第十二條 第十條第十一條ノ賠償金及違約金ハ請負人ニ仕拂フヘキ賃金ノ内ヨリ扣除シ尙不足スルトキハ契約保證金ヨリ扣除シ又ハ追徴スルコトアルヘシ
- 第十三條 請負人ニシテ工事監督者ノ指揮命令ニ従ハス又ハ水道課職夫人夫取締規定ノ禁止事項竝ニ仕様ノ條項ニ違背スル行爲アリト認メタルトキハ請負契約ヲ解除シ保證金ヲ市ノ所得ニ歸ス

配水工事用人夫供給仕様書

- 第一條 本供給人夫ハ水道配水工事ニ使役スルモノトス
- 第二條 供給人夫ハ豫定總員數ハ約三萬人トス但工事ノ都合ニ據リ豫定員數ヲ増減スルコトアルヘシ
- 第三條 供給人夫ハ年齢二十歳以上四十歳以下ノ男子ニシテ身體強壯技能熟練能ク各種ノ勞働ニ耐フルモノタルヘシ女人夫ニ對シテモ亦前項ヲ準用ス
- 第四條 供給人夫ハ成ルヘク同一ノモノニシテ且ツ工事係員ニ於テ適當ト認ムルモノニ限ルモノトス
- 第五條 供給期間ハ明治四十何年何月何日ヨリ明治四十何年何月何日迄トス但都合ニヨリ期間ヲ伸縮スルコトアルヘシ
- 第六條 供給人夫ハ毎日使役員數ヲ前日中ニ請負人ニ通知シ所定ノ人員通知簿ニ捺印セシムルモノトス但員數五十人以上増加ヲ要スル場合ハ三日以前ニ通知スルモノトス
- 第七條 人夫服役時間ハ左ノ通りトス



期 間	始 業	終 業
一、二、十一、十二月	午前七時三十分	午後四時三十分
三、四、十月	午前六時三十分	同 五時
五、六月	同 上	同 五時三十分
七、八、九月	午前六時	同 五時三十分

第八條 工事ノ都合ニヨリ規定服役時間ニ拘ラス工程ヲ定メ課程労働ヲ爲サシムルコトアルヘシ此場合ニ於テ請負人ハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第九條 請負人ハ毎日工事場ニ出頭シ諸事係員ノ指揮ヲ受クヘシ但病氣其他事故アル場合ハ代理人ヲ定メ連署ノ上届出ツヘシ

前項代理人ニシテ不適當ト認ムルトキハ其取替ヲ命スルモノトス

第十條 供給人ニシテ工事監督者ノ指揮命令ニ従ハス又ハ水道課職工人夫取締規程ニ禁止セラレタル事項竝ニ本仕様ノ條項ニ違背スル行爲アリト認メタルトキハ直ニ退場ヲ命スヘシ

一度退場ヲ命セラレタル人夫ハ再度供給スルコトヲ得ス

第十一條 供給人夫ノ労働ニ必要ナル工事用器具ハ之ヲ貸與ス

第十二條 前條貸付ノ物品ハ工場外ニ携帯スルコトヲ得サルハ勿論毎日終業ノ際ハ叮嚀ニ掃除ヲ加ヘ係員ノ點檢ヲ經テ之ヲ還付スヘキモノトス

第十三條 人夫ハ服役中恣ニ退場スルコトヲ得ス若シ疾病其他ノ事故ヲ生シ歸宅ヲ乞ハントスルトキハ其旨届出許可ヲ受クヘシ

第十四條 供給人夫ニシテ從業中負傷若クハ死亡シタルトキハ請負人ニ於テ相當手續ヲナスモノトス

第十五條 本仕様書ノ條項ニ關シ疑義ヲ生シタルトキハ臨時事業部技術長ノ決スル處ニ依ル

配水工事用人夫供給請負追加契約要項

配水工事用人夫供給請負追加契約要項

第一條 雨天其他ノ事故ニヨリ工事ヲ中止シタル時其賃金ハ服役時間一時間ノトキハ十分ノ二ヲ支給シ爾後一時間ヲ増ス毎二十分ノ一ヲ増ス八時間以上ハ全額ヲ支給シ但一時間未満ハ切捨ツルモノトス

第二條 人夫各自ノ都合ニヨリ退場ヲ申出ツル場合若クハ始業時間ニ遅刻出場セシトキハ規定服役時間ヨリ其從業時間ヲ扣除シタル殘餘時間ニ對シ一時間十分ノ一ノ割合ヲ以テ其賃金ヲ扣除ス但殘餘時間ニ端數ヲ生シタル時ハ繰上クルモノトス

第三條 工事ノ都合ニ依リ服役時間後引繼キ使役スルトキハ終業時間後二時間迄ハ一時間ニ付一步二時間以後翌午前就業時間迄ハ一時間ニ付一步五厘ノ割合ヲ以テ



賃金ヲ支給ス一時間ニ滿タサルモノハ切捨トス

特ニ服役時間外ニ出役ヲ命シタルトキハ規定ノ終業時間後二時間以後始業時間前

二時間前迄ハ一時間ニ付一步五厘ノ割合ヲ以テ賃金ヲ支給ス

第四條 出役者ニシテ業務ヲ怠リタルトキハ出張所主任ノ見込ニヨリ歩切ヲ以テ其

賃金ヲ減スルモノトス

第五條 請負人ハ毎日工事係出張所ヨリ交付セシ使役證明書ノ員數ヲ十日目毎ニ集

計シ賃金請求書ヲ作り該證明書ヲ添ヘ水道課ヘ差出スヘシ

第六條 左ノ一ニ該當スルトキハ其人夫ニ對シテ當日ノ賃金ヲ支給セサルモノトス

一 退場ヲ命シタル人夫ヲ再ヒ出場セシメタル時

一 不都合ノ行爲アリト認メ退場ヲ命シタル時

一 從業中恣ニ退場シタル時

第七條 請負人又ハ人夫ニシテ命令以外ノ行爲ニ依リ工事上ニ損害ヲ生セシメタル

トキハ請負人ニ於テ賠償ノ責ニ任スルモノトス

貸與ニ係ル工事用器具機械ヲ疎虞懈怠ニヨリ破損亡失セシメタルトキモ亦前項ニ

同シ

前各項ノ賠償金ハ本市ノ認定セル金額ニ依ルモノトス

第八條 請負人ニシテ仕様書第六條ノ通知ヲ受ケナカラ當日ノ出場員數ニ不足ヲ生

シタルトキハ不足人員一人ニ付金拾錢宛ノ割合ヲ以テ違約金ヲ徴收スヘキモノト

ス

第九條 第七條第八條ノ賠償金及違約金ハ請負人ニ支拂フヘキ賃金ノ内ヨリ扣除シ

尙不足アルトキハ契約保證金ヨリ扣除シ又ハ追徴スルコトアルヘシ

第十條 請負人ニシテ工事監督者ノ指揮命令ニ從ハス又ハ水道課職工人夫取締規程

ノ禁止事項并ニ仕様書ノ條項ニ違背スル行爲アリト認メタルトキハ請負契約ヲ解

除シ保證金ヲ市ノ所得ニ歸ス

鐵管及屬具埋設工事方法書

第一條 水道用鐵管并ニ屬具ヲ埋設スヘキ街路布設鐵管ノ口徑延長及埋設ノ深サ等

ハ別紙添付ノ平面圖明細書ノ通トス

第二條 街路ニ於ケル布設ノ位置ハ街路ノ南北筋ハ主トシテ東側ニ東西筋ハ主トシ

テ南側ニ偏シテ布設シ道路側溝ヨリ鐵管ノ中心迄六尺以上ノ間隔ヲ保タシム

第三條 同一街路ニ數條ノ鐵管布設スル場合街路狹隘ナル場合其他已ムヲ得サル場

合ハ第二條ニ準シ適當ノ位置ニ布設スルモノトス



第四條 同一街路ニ二條ノ配水支管ヲ布設スル場合ニハ街路ノ西側ニ偏シ道路側溝

ヨリ鐵管ノ中心迄各四尺以上ノ距離ニ布設スルモノトス  
第五條 配水鐵管ノ既設電鐵軌道ト並行スル場合ニアリテハ少クトモ四尺ノ水平距

離ヲ保タシムルモノトス  
第六條 配水鐵管カ既設電鐵線路ヲ橫斷スル場合ニハ軌道面ヨリ三尺以下ニ布設シ

且相當ノ設備ヲナシ直接荷重ヲ受ケサル様施行スルモノトス  
配水鐵管カ下水溝渠ヲ橫斷スル場合ニハ溝渠ノ底部ヨリ一尺以上ノ下部ニ布設シ

若シ必要ナルトキハ相當ノ設備ヲ爲スモノトス  
配水鐵管カ既設電話地下線其他ノ地下構造物ヲ橫斷スルトキハ上下左右トモ一尺

以上ノ間隔ヲ保チ適當ノ位置ニ布設スルモノトス  
第七條 制水瓣防火栓其他ノ屬具ヲ布設スルトキハ鐵蓋ヲ蔽ヒ道路面ト高低ナカラ

シムルモノトス  
第八條 各戸ニ給水スヘキ鉛管止水栓其他ノ用具ハ道路面ヨリ一尺五寸以上ノ深サ

ニ布設スルモノトス  
第九條 鐵管及屬具布設ノ爲メ道路掘鑿ノ勾配ハ地質ノ軟硬ニヨリ三分乃至八分ト

シ特ニ土砂崩壞ノ虞アル個所ハ矢板ヲ用井テ十分ナル防禦工事ヲ施行スルモノト

ス  
第十條 掘鑿セル土砂ハ成ルヘク道路ノ片側ニ置キ通行ノ妨害ヲ減縮スルモノトス

第十一條 十字街又ハ丁字街等ノ中交通頻繁ナル個所ハ成ルヘク一半ヅ、ヲ施行シ

已ムヲ得サル場合ハ相當ノ設備ヲナシ一部ノ通行ニ便ナラシムヘシ  
第十二條 水道用鐵管ノ形狀寸法及口徑等ハ別紙圖面ノ通ニシテ總テ防蝕シタル鉛

鐵管ヲ用ヒ一平方吋ニ付二百六十封度ノ水壓試驗ニ合格シタルモノトス  
第十三條 管鐵ノ継手ハ制水瓣防火栓其他屬具ノ取付井ニ特殊ノモノヲ除キ總テ鉛

継手ヲ用フルモノニシテ其一箇所ノ使用材料ハ別紙添付ノ明細表ノ通リトス  
第十四條 工事施行中ハ危險防備ノ爲メ夜間ハ相當ノ燈具ヲ備ヘ點燈スルモノトス

第十五條 埋方ハ厚一尺毎ニ十分土砂ヲ搗固メ表面ハ敷砂利ヲナシ原形ニ修復スル

モノトス  
第十六條 鐵管及屬具布設ノ爲メニ生シタル土砂ノ餘剩ハ總テ他ニ運搬取棄ツルモ

ノトス  
第十七條 工事ノ爲メ道路側壁下水溝石垣其他ノ既設工事ヲ破損シタルトキハ此カ

復舊工事ヲ施行スルモノトス  
第十八條 本工程ノ施行期ハ明治四十四年三月三十一日迄ニ烏丸以東ノ幹支線布設

ヲ終リ明治四十五年三月三十一日迄ニ烏丸以西ノ幹支線ノ布設ヲ了ルモノトス



鐵管布設土工内規

- 第一條 鐵管布設丁堀ノ長ハ布設豫定ノ二日分ヲ超過スヘカラス
- 第二條 布設ヲ終リタル場所ハ雨天ヲ除キ遅トモ翌日終業時刻迄ニ埋戻ヲ完了セシムヘシ
- 該期日迄ニ完了セサルトキハ延滞日數一日毎ニ課程歩掛ヨリ二割ヲ減スヘシ
- 第三條 殘土取除ノ命令ハ布設ヲ終リタル當日之ヲ行フヘシ受命ノ翌日ヨリ雨天ヲ除キ四日以内ニ完了セサルトキハ該部分ニ對シ延滞一日毎ニ課程歩掛ヨリ二割ヲ減スヘシ
- 第四條 路面修理ハ二十四時以下ハ布設後一週間以内十六時以上ハ布設後二週間以内ニ砂利敷迄ノ手續ヲ完了セシムヘシ該期日ヲ經過シタルトキハ延滞一日毎ニ課程歩掛ヨリ一割ヲ減スヘシ
- 第五條 砂利敷迄ノ手續ヲ完了シタル部分ハ課程歩掛リ八割以内ヲ支拂ヒ全部完了ノ後殘部ヲ支拂フヘシ
- 第六條 路面修理ノ完了シタル部分ハ速ニ書面ヲ以テ届出テ市役所工務課ニ引渡シ手續ヲナスヘシ

鐵管布設丁堀仕様書

- 第一條 各種鐵管丁堀ノ幅員及深サ等ハ別表ノ通りトス
- 第二條 幅員及深サハ別表定ムル處ニ據ルト雖モ現場ノ模様ニヨリ幅員及深サ共伸縮スルコトアルヘシ
- 第三條 路面掘鑿ニ従事スルモノハ係員ニ就キ掘鑿スヘキ場所及線路中心等ノ指定ヲ受ケタル後ニ非サレハ着手スヘガラズ
- 第四條 掘鑿ニ要スル器具ハ之ヲ貸與ス
- 第五條 器具ノ貸與ヲ受ケントスルモノハ請負人又ハ代理人ニ於テ一括シタル證書ヲ差出スヲ要ス
- 第六條 掘鑿ヲナスニ當リ人家ノ出入口ニ相當スル處ハ可成妨害トナラサル様注意スヘシ又官衙學校病院等ノ如キ多數ノ往來スル處ハ特ニ注意ヲ要ス十字街ニアリテハ道路ノ半徑宛チ掘鑿シ同時ニ横斷スヘカラス
- 第七條 掘揚土砂ハ可成片側ヘ置キ往來ノ妨害トナラサル様ニナスヘシ
- 第八條 掘鑿スルニ當リ上層砂利交リ約一尺五寸位ハ片側ニ置キ以下ハ反對側ニ置クヘシ若シ道路狹隘ニシテ万止ムヲ得サル場合ハ現場係員ニ届出テ其指示ニ從フヘシ
- 第九條 道路狹隘ニシテ牛馬ノ通行止ヲ要スル場合ハ前日係員ニ届出テ所定ノ制札



ヲ樹立スヘシ

第十條 會所堀ハ現場係員ノ指示ニ從ヒ掘鑿スヘキハ勿論規定ノ寸法ヲ縮ムルコトヲ許サス

第十一條 埋戻ハ鐵管布設後ニ於ス爲スモノナレハ決シテ覆リニ埋戻シヲナスヘカラス必ス其都度係員ノ指示ニ從フヘシ若シ繼手作業ヲ終ラサル前ニ埋戻ヲナシタルトキハ直チニ再堀セシムヘシ

第十二條 埋戻ハ最初鐵管ノ上部ニ至ル迄可成瓦礫ヲ混合セサル土ヲ用ヒ工事場所用ノ搗固器ヲ以テ充分搗固メ管上約一尺ノ處迄埋戻シ充分木蟻ヲ以テ搗キ固メ尙時宜ニヨリ上水ヲ撒キ搗固メ順次上層ニ及ホシ路面ニ達スルモノトス

第十三條 總テ工事ハ晝間ニ行フモノナレドモ都合ニ據リ晝夜兼行ノ際ハ掘鑿及埋戻モ同様就業スヘキモノトス

第十四條 本仕様書ニ記載ナキ事柄ハ總テ係員ノ指揮命令ニ從フヘシ

鐵管布設跡埋戻及路面修理仕様書

鐵管布設跡埋戻及路面修理仕様書

第一條 鐵管布設ヲ終リタルトキハ現場監督員ノ指揮命令ニ從ヒ埋戻ヲナスヘシ

第二條 埋戻シニ際シ粗大ナル瓦礫及腐朽スヘキ物質ヲ混入スヘカラス鐵管ノ四周ハ特ニ留意シテ細土ヲ用フヘシ

第三條 埋戻ハ每層厚一尺以下ニ敷均シ木蟻ヲ以テ一樣ニ充分搗固メ鐵管ノ繼手兩側及下部ハ特ニ注意シテ粗漏ナキ様叮嚀ニ搗固ムヘシ層々斯ノ如クニシテ舊路面ニ達シタルトキハ稍中高ニ敷均シ舊路面ノ形狀ニ復スルマテ搗固ムヘシ但土質ニヨリテハ搗固メニ代フルニ撒水セシムルコトアルヘシ

撒水ハ土ノ全體カ飽和シ表面泥狀ヲ呈スルヲ以テ程度トス每層斯ノ如クニシテ舊路面ニ達セシメ不陸ナカラシムヘシ

第四條 埋戻完了後約十二時間ヲ經タル後三噸以上ノ「ローラー」ヲ以テ埋戻ノ全面ニ亘リ一樣ニ片道三十回以上曳固メヲナシ砂利ヲ厚二寸以上ニ敷均シ更ニ片道三十回以上ノ「ローラー」曳ヲナシ砂利ヲシテ充分土砂ト混和スルニ至ラシムヘシ

第五條 砂利ハ有功長二分以上七分以下ノ河砂利ニシテ腐朽スヘキ物質ヲ混入セサルモノトス

第六條 前各條ノ手續ハ逐一現場監督員ノ指示ニ從ヒ施行スヘシ若シ濫リニ着手シ若クハ施行シタリト認メタル場合ニ於テハ其部分ニ對スル賃金ハ支拂ハサルノミナラス時宜ニヨリテハ所要ノ場所ヲ掘鑿シ又ハ取除カシムルコトアルモ其賃金ハ支拂ハサルモノトス

第七條 前記ノ各條施行後滿三ヶ月以内ニ生スル路面ノ沈下并ニ凸凹ハ其都度直ニ



不陸ヲ切均シ砂利ヲ填充シ搗固メ若クハ「ローラー」曳ヲナシ路面ヲ舊形ニ復セシムヘシ

第八條 前記各條ノ手續充分ナラサルカ或ハ中途出役ヲ停止シタリト認メタル場合ニ於テハ本市ノ費用ヲ以テ之ヲ施行シ其費用ヲ賠償セシムヘシ

第九條 前條ノ賠償金ハ請負人ニ支拂フヘキ賃金ノ内ヨリ扣除シ尙不足ヲ生スルトキハ更ニ追徴スルモノトス

第十條 本工事ノ賃金ハ埋戻及路面復舊ノ二項ニ分テ各別紙ノ通リトス其賃金ノ計算ハ總テ配水管布設備ノ延長ニヨリ之ヲ算定スルモノトス

第十一條 本市ノ都合ニヨリ本契約ヲ解除スル場合ニ於テハ此ニヨリ生スル請負人ノ損害ニ對シテハ本市ハ其責ニ任セス

第十二條 本仕様書ニ關シ疑義ヲ生シタル場合ハ臨時事業部水道課長ノ決スル所ニ據ル此決定ニ對シテハ請負人ハ異議申立ツルコトヲ得ス

残土取除仕様書

残土取除仕様書

第一條 配水鐵管布設工事ニヨリ生スル残土取除ハ總テ本仕様書ニ基キ作業スルモ

ノトス

第二條 残土取除ハ現場監督員ノ指揮命令ニ從ヒ運搬并ニ跡掃除ヲナスヘシ

第三條 石材其他ノ有價物ハ現場監督員ノ指定スル場所ニ運搬スルモノトス

第四條 工事ノ都合ニ依リ現場監督員ヨリ残土ノ一部留置ヲ命シタルトキハ指定セラレタル所ニ存置スヘシ

第五條 残土ノ一部又ハ全部ヲ他ノ不足ノ部分ニ運搬ヲ命スルコトアルモ請負人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第六條 残土取除ノ命令ヲ受ケタルトキハ受命ノ翌日ヨリ起算シ尠クトモ四日以内ニ全部ヲ完了スヘシ但残土取除ニ關スル一切ノ命令ハ之ヲ前日迄ニ通知ス

第七條 雨天其他已ムヲ得サル事故ノ爲メ第六條ノ期限内ニ完了シ能ハサルトキハ其所屬ノ水道課出張所ヘ届出テ指揮ヲ受クヘシ

第八條 残土取除賃金別表ノ通リトス其賃金ノ計算ハ總テ配水管布設備ノ延長ニヨリ之ヲ算定スルモノトス

第九條 残土取除請負人ニシテ仕様書第五第六第七條ノ指揮命令ヲ遵守セスシテ濫リニ完了期間ニ遅延シタル場合ニハ期限滿了後ノ残工事ニ對スル賃金ヲ仕拂ハサルモノトス

第十條 残土取除請負人ニシテ前條ノ場合ニ於テ期限後出役ヲ停止シタリト認メタル場合ハ本市ノ費用ヲ以テ之ヲ施行シ其費用ヲ賠償セシムヘシ



第十一條 前條ノ賠償金ハ残土請負人ニ仕拂フヘキ貸金ノ内ヨリ扣除シ不足アルト  
 キハ人夫共給契約保證金ヨリ扣除シ尙不足ヲ生スルトキハ更ニ追徴スルコトアル  
 ヘシ

第十二條 本仕様書ニ關シ疑義ヲ生シタル場合ハ臨時事業部水道課長ノ決スル所ニ  
 ヨル此決定ニ對シテハ請負人ハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

水道編第四集終

大正二年三月刊

京都市三大事業誌

水道編

第五集



京都市三大事業誌

水道編

第五集

鐵管購入顛末

近時水道事業ノ各地ニ起ルヤ此レニ要スル主要材料ハ即チ大小ノ鐵管ニシテ鐵管ノ良否ハ配水事業ノ性命ニ關ス殊ニ其ノ數甚タ多ク其量很々重ク運搬ノ困難ニシテ取扱ノ煩雜ナル當局者ノ尤モ難ム所ナリ由來鐵管ハ往々外國品ヲ仰キシモノ少シトセズ是レ一ハ内地製造業ノ未タ遜色ヲ免レサルニ因ル可キト雖モ一ハ外國品ヲ過信スルニ因ラスンハアル可カラス我市水道事業ヲ企ツルヤ豫メ參考事項ヲ各地ニ求メ短キ捨テ長キ取り精密ナル調査ヲ遂ケ以テ鐵管購入手續ヲ定メ之レヲ臨時事業委員ニ諮リ市參事會ノ決議ヲ經テ内外製造業者ヲ網羅シ請負價格ヲ競争セシメシニ或ハ入札ヲ辭セシモノアリ或ハ時期ヲ逸シタルモノアリタレトモ遂ニ内地ニ於ケル製管者二人ニ落札シタリ而シテ實行ニ及ンテ製造ノ能ク仕様方法ニ適合シ納入ノ約束期日ヲ愆ラザリシハ本事業ニ對スル効績大ナリト謂フヘシ購入ハ二十吋管ヲ以テ分界トナシ二十吋以上ハ岩手縣釜石製鐵所田中長兵衛ニ以下ハ大阪市久保田鐵工所久保田



權四郎ノ請負ニ歸シタリ此他附屬品等モ競争入札ニ由リ各之ヲ購入シタリ

目次

一 鐵管購入願末			
鐵管購入議定	四十三年一月十四日		三
鐵管購入入札	同 年一月二十日及二十四日		九
鐵管購入契約	同 年二月五日		一七
十八吋以下制水瓣購入	同 年二月五日		一七八
各種鐵蓋購入	同 年一月二十五日		一三一
防火栓購入	同 年一月二十五日		一三四
排氣瓣購入	同 年一月二十五日		一三七
二十吋以上制水瓣購入	同 年三月二十五日		一四〇
三十六吋鐵管購入	同 年十月二十五日		一四五

京都市三大事業誌

水道編

第五集

鐵管購入

鑛管購入決議

明治四十三年一月十四日市參事會ニ於テ指名入札法ニ由リ鑛鐵管一萬五千九百十四噸餘購入ノ議ヲ決定ス内徑二十吋未滿ノ直管一噸ノ單價ヲ六拾貳圓ニ二十四吋以上ノ單價ヲ六拾四圓ト豫定シタリ

鑛鐵管購入方法

一 鑛鐵管一萬五千九百十四噸六〇四八

此豫定價格百八萬九百貳拾參圓

內譯

二十吋未滿 鑛鐵管八千五百九十八噸八二三

鐵管購入決議

鑛鐵管購入方法







京都市臨時事業部

大阪鐵工所 久保田鐵工所 紀野言鑄作所 川崎造船所 東京鑿鐵製作所 田中製鐵所 永瀨鐵工所 三井物産株式會社支店 高田商會支店 範多商會 日支テレジニング商會 カール、ローウ井ツ商會 フアーブルブランド商會 モスレー商會 パーチキルビー商會 イリス商會 ジャーデンマゼン商會 米國貿易商會 サミユル商會

追テ分納表中ノ員數ハ徑二十吋未滿ハ呎二十呎以上ハ「メートル」ニヨリ計算セルモノニ付其何レカ一方ニヨリ供給スル場合ハ隨テ分納表ノ員數ヲ更正契約スルモノト了承相成度又見積書中ノ直管ハ呎及「メートル」トモ價格記入ニ不及何レカ一方ヲ記入シ一方ニハ斜線ヲ畫カレ度此段申添候也

鑄鐵管代金見積書

管種	本數	噸數	單價	金額	備考
直形管	六一、六〇五	一五、一五九	九七〇五		呎ニヨル
異形管	五六、三三〇	一五、〇六三	五七二一		「メートル」ニヨル
計	一〇、八三九	七九九	四九八〇		

鐵管代金見積表

本見積書有効期張 明治四十三年何月何日限  
右仕様書圖面及契約書案等熟知ノ上前記金額ヲ以テ供給可仕候也  
明治四十三年月日 住所 氏名

京都市參事會  
京都市長西郷菊次郎殿

鐵管代金見積表

四十三年一月十一日調

二十吋以上	二十吋未滿	全部	見積書 有効期	摘要	見積書提出者
直管 六八・九九三 單價 一三・七五〇 異形管 六一・〇、三七九〇九 單價 一三・七五〇	直管 六八・七六八 單價 一三・七五〇 異形管 六一・〇、三七九〇九 單價 一三・七五〇	直管 一、四三二、七六二・七三 異形管 一、六九五、六〇五・五八	二十吋以上一月二日 二十吋未滿一月二日 他一月十日	直管「メートル」計算 異形管「メートル」計算	三井物産會社大阪支店
同 六六、〇〇〇	同 七四、八〇〇	同 一、六九五、六〇五・五八	一月二日	直管呎計	久保田鐵工場
同 六九、九九〇	同 六九、三二〇	同 一、六八二、九〇六・二九〇	一月十日	同	範多商會
同 一三、〇〇〇	同 一三、〇〇〇	同 一、八二二、九〇六・二九〇	同	同	同
同 六九、九九〇	同 六九、三二〇	同 一、六八二、九〇六・二九〇	同	同	同
同 一三、〇〇〇	同 一三、〇〇〇	同 一、八二二、九〇六・二九〇	同	同	同



鐵管購入入札

明治四十三年一月十四日市參事會ニ於テ鐵管購入ノ議ヲ決シタルヲ以テ即日大野臨時事業部長ハ客年十一月二十二日ノ照會ニ應シテ見積書ヲ提出シタル三井物産株式會社大阪支店外九個處ニ對シテ二十吋以下ノ鐵管ハ本月二十日二十吋以上ハ二十四日ニ於テ各入札ニ付スヘキ旨ヲ通知シ尙此ノ入札ハ重大事件ナルヲ以テ市參事會員及臨時事業委員ノ立會ヲ求メタリ

明治四十三年一月二十日午後二時開札

立會人

- 市長 西郷菊次郎
- 助役 加藤小太郎
- 市參事會員 堀田康人
- 臨時事業委員長 雨森菊太郎
- 同委員 三幣保
- 同 藤木重次郎
- 同 村岡角太郎

明治四十三年一月二十四日正午開札

立會人

高田商會外八會社ハ辭退或ハ見積書ヲ提出セズ

五八七、三〇四・〇六三	同	七五、〇〇〇	六八五、六四四・一〇三	同	七五、〇〇〇	一、二七三、九四八・六六〇	十一月三 日同	紀野吉鐵工所
五八〇、六九三・七七〇	同	七五、〇〇〇	六九五、三一九・三五〇	同	七五、〇〇〇	一、二七五、八七三・七九〇	十一月二 日同	大阪鐵工所
五八九、九九二・四〇二	同	七八、二〇〇	六八六、三六一・七二八	同	七八、二〇〇	一、二七五、八七三・七九〇	一月十 日 トル計算	フアーブルブランド 商會
希望ナシ	同	一八、七九〇	六八六、三六一・七二八	同	七八、二〇〇	一、二七五、八七三・七九〇	一月二 日 直管吹計	東京堅鐵製作所
五六七、八〇〇・七〇八	同	七二、五〇〇	六八六、五〇七・七九七	同	七二、五〇〇	一、二五四、三〇八・五〇五	十一月二 日同	川崎造船所
希望ナシ	同	一五〇、〇〇〇	六八八、八三三・七二八	同	一四〇、〇〇〇		十一月二 日同	永瀬鐵工所



市長 西郷菊次郎  
 助役 加藤小太郎  
 市参事會員 中村榮助  
 同 堀田康人  
 同 平井熊三郎  
 臨時事業委員 杉本善郎  
 同 三幣保  
 同 藤木重次郎  
 同 村岡角太郎  
 同 若山庄造  
 同 小島龜太郎  
 同 藤原清兵衛  
 立會人 西郷菊次郎  
 市長 加藤小太郎  
 助役 堀田康人  
 市参事會員 中村榮助  
 同 平井熊三郎  
 臨時事業委員 杉本善郎  
 同 三幣保  
 同 藤木重次郎  
 同 村岡角太郎  
 同 若山庄造  
 同 小島龜太郎  
 同 藤原清兵衛

明治四十三年二月一日二十時以上鐵管再入札午後二時四十分開札

入札心得書

一 入札書ハ別紙書式ニ依リ調製シ二十時未滿ノ分ハ明治四十三年一月二十日午前十一時迄ニ二十時以上ノ分ハ同月二十四日午前十一時迄ニ提出スヘシ何レモ即時開札ス  
 二 入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上ヲ納ムヘシ

入札心得書

同 山本清助  
 同 平井熊三郎  
 同 柴田彌兵衛  
 同 雨森菊太郎  
 同 今西平兵衛  
 同 西村彦右衛門  
 臨時事業委員 水野世民  
 同 三幣保  
 右入札執行者  
 臨時事業部長 大野盛郁  
 水道課長 原全路  
 總務課長 陶山富太郎



三 仕様書圖面及契約書案等ハ明治四十二年十一月二十二日臨發第一一八〇號ニテ送付セシモノニ同シ

四 落札者落札ノ日ヨリ五日以内ニ契約書及契約保證金ヲ提出スヘシ

五 契約保證金ハ契約金高ノ百分ノ十トス

六 分納表中二十吋以上ノ鐵管ハ製造所カ外國ノ場合ニハ第一分納期ヲ四十二年七月三十一日限リトシ第二期以下ハ凡テ附屬書ノ通トシ製造所カ内地ノ場合ニハ左ノ通トス

第一分納期 四十三年五月三十一日限

第二分納期 同 七月三十一日限

第三分納期 同 十月三十一日限

第四分納期 四十四年一月三十一日限

第五分納期 同 四月三十日限

第六分納期 同 七月三十一日限

七 分納表中二十吋未滿ノ鐵管製造所カ内地ノ場合ニハ第一分納期ヲ四十三年五月三十一日限トシ第二期分納期以下ハ凡テ附屬書ノ通トシ製造所カ外國ノ場合ハ左ノ通トス

第一分納期 四十三年七月三十一日限

第二分納期 同 九月三十日限

一金

第三分納期 同 十二月三十一日限

第四分納期 四十四年三月三十一日限

第五分納期 同 六月三十日限

第六分納期 同 九月三十日限

第七分納期 同 十一月三十日限

内徑二十吋未滿鑄鐵管供給入札書

内譯

管種	本數	噸數	一噸價	金額	備考
直形管	五、五八五三	八、二三九			吹ニヨル
異形管	五、〇七一	八、一八八・四六五二			「メートル」ニヨル
	九、八五一九	三、五八八・八一二四			

右明治四十三年一月二十五日京都市公告第六號工事施行規程、仕様書圖面及契約書案等熟知ノ上前記金額ヲ以テ供給可仕候也

明治四十三年月日

住所

姓名



京都市參事會

京都市長西郷菊次郎殿

鑄鐵管入札願末報告

明治四十三年一月十四日付ヲ以テ當市水道用鑄鐵管ノ内二十吋以下ハ一月二十日二十吋以上ハ同日二十四日當部ニ於テ入札執行方三井物産株式會社大阪支店外九ヶ所ニ通知シ當日開札ノ結果左記ノ通ニ有之候  
一月二十日執行二十吋以下ノ分

金額	順位	入札者氏名
五八一、八〇〇・〇〇〇	一	大阪 久保田鐵工所
六〇六、二二一・六六六	二	三井物産株式會社大阪支店
六〇六、九七八・二八〇	三	範多商會大阪支店
六一八、〇七六・〇〇〇	四	大阪 紀野吉鐵工所
六三〇、四二三・四一〇	五	陸中釜石 田中製鐵所
六四一、七一九・六六〇	六	埼玉縣 永瀨鐵工所

一月二十四日執行二十吋以上ノ分

金額	順位	入札者氏名
六四一、七一九・六六七	七	東京 堅鐵製作所
六四三、三六七・六六〇	八	大阪 大阪鐵工所
六四五、七六七・一七〇	九	神戶 川崎造船所
四九二、五〇八・〇〇〇	一	久保田鐵工所
四九五、六〇〇・〇〇〇	二	紀野吉鐵工所
四九七、三七三・九〇〇	三	田中鐵工所
五二二、七八七・二〇〇	四	川崎造船所
五二八、〇七六・六八六	五	三井物産株式會社
五三六、九七〇・五二七	六	東京 堅鐵製作所
五九六、七九七・四八九	七	フアーブルブランド商會



以上ノ結果ニシテ何レモ豫定價差ニ超過セシニ依リ更ニ二月一日再入札執行セシ  
ニ左ノ如シ  
二月一日執行再入札結果表

金額	順位	入札者氏名
四六七、五〇八・八一〇	一	田中鐵工所
四八一、五〇〇・〇〇〇	二	久保田鐵工所
五〇九、七五五・〇〇〇	三	川崎造船所
五二八、〇七六・六八六	四	三井物産株式會社
五三二、三八五・〇〇〇	五	範多商會大阪支店
五九六、七九七・四八九	六	フアーブルブランド商會

右及報告候也

明治四十三年二月四日

市長西郷菊次郎殿

追伸噸數及落札金額並ニ豫定價格左表之通ニ候

臨時事業部長大野盛郁

鑄鐵管重量及價格表

種別	噸數	豫算額	決定額	減差
二十吋以下 直形管	八、一三九・九九九	五四三、八四〇・〇〇〇	五三七、六〇〇・〇〇〇	六、二四〇・〇〇〇
異形管	三五八・八一二	四七、二七四・〇〇〇	四二、〇〇〇・〇〇〇	三、〇七四・〇〇〇
二十吋以上 直形管	六、八七五・〇六九	四四〇、〇〇七・〇〇〇	四二二、一一八・二〇〇	一七、八八八・八〇〇
異形管	四四〇・六八五	四九、八〇〇・〇〇〇	四五、三九〇・六一〇	四、四一〇・三九〇
計	一五、八一四・六〇四	一、〇八〇、九三三・〇〇〇	一、〇四九、三〇八・八一〇	三一、六一四・一九〇

鐵管購入契約

鐵管購入契約

明治四十三年二月五日鐵管二十吋以上ハ岩手縣釜石製鐵所田中長兵衛ノ入札價格低廉ナリシヲ以テ同人ヲ供給人ト定メ左ノ契約ヲ徵ス



鐵管供給契約書

一 鑄鐵直管八千二百二十英噸一三三一五万二千九百七十六本  
 但種別及員數内譯ハ別紙鑄鐵管分納表ノ通

右供給代金五拾四萬五千六百參拾壹圓參拾七錢貳厘壹英噸ニ付金六拾六圓參拾七錢七厘五毛弱

一 鑄鐵異形管三百五十八噸八一二四九千八百五十九本  
 但種別及員數内譯ハ別紙鑄鐵管分納表ノ通

右供給代金參萬六千壹百六拾八圓六拾貳錢八厘一英噸ニ付金壹百圓八拾錢

合計供給代金五拾八萬壹千八百圓也

此契約保證金五萬八千壹百八拾圓也

但株式會社百三十銀行難波支店定期預金證書第三ノ二〇號一枚

引渡期限 別紙鑄鐵管分納表ノ通

引渡場所 京都市岡崎公園内鐵管試驗工場内

右金額ヲ以テ前記ノ鑄鐵管供給ヲ引受候ニ就テハ明治四十二年一月二十五日京都市公告第六號工事施行規程及左記追加契約事項ヲ遵守シ且仕様書圖面ノ通期限内ニハ必ス引渡可致候仍テ契約書差出候也

明治四十三年二月五日

大阪市南區北高岸町八四六番地ノ一

供給人 久保田 權四郎

京都市參事會

京都市長西郷菊次郎殿

左記

追加契約事項

第一條 京都市ハ都合ニ依リ契約鐵管ノ數量管種等ヲ増減變更スル事アルヘシ此場合ニ於テ其増減變更ノ數量カ重量ニ於テ百分ノ二十ヲ超過セス且其通知カ製造所カ外國ノ場合ニハ五箇月製造所カ内地ノ場合ニハ三箇月以前ニ發セラレタルトキハ供給人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス每期分納ノ數量管種ヲ變更セントスルトキ亦同シ

右場合ニ於テ供給代金ノ増減ハ契約單價ニ依リテ之ヲ計算スルモノトス

第二條 代金ハ仕様書第十九條ニ該當スルモノヲ除キ總テ規定重量ニ依リ契約單價ヲ以テ算定スルモノトス

第三條 代金ハ引渡ヲ完了シタル一納期毎ニ其全額ヲ支拂フモノトス但シ每期引渡完了以前ニ於ケル内渡金ハ引渡済ニ對スル代金ノ十分ノ九トス

第四條 第三期分迄ノ引渡ヲ完了シタル後ハ支拂代金高ニ相當スル契約保證金ヲ還付スル事アルヘシ



鑄鐵管購入仕様書

第一條 京都市水道用鑄鐵管ハ總テ本仕様書ニ據リテ供給スヘキモノニシテ其種別員數並形狀寸法及重量等ハ本仕様書附屬明細表及圖面ニ示スカ如シ

但シ徑五吋以下ノ直管ハ有効長三メートル徑六吋以上ノ直管ハ有効長四メートルノモノヲ代納スルコトヲ得此場合ニ於テハ其本數及規定重量ハ別紙附屬書内徑二十吋未満ノモノハ各號表ノ乙又内徑二十吋以上ノモノハ各號表ノ甲ニ據ルモノトス

第二條 鐵管ハ凡テ規定ノ形狀及寸法ヲ有シ斷面ハ眞圓形内外面共同心圓ニシテ平滑タルヘク又砂竅氣泡罅裂爐滓其他鑄造上ノ缺點ナク又栓若クハ其他ノ方法ヲ以テ夫等ノ缺點ヲ補填セサルモノトス挿口ハ能ク承口ノ底部ニ適合シ周圍ニ規定ノ間隙ヲ有スルモノタルヘシ

第三條 鑄鐵ハ凡ヘテ良質ノ「ピグアイオン」ヲ用井其破砕面灰色ニシテ粒狀緻密全體同質ニシテ爐滓又ハ粗雜ノ金屬ヲ含有セス且ツ其質強靱ニシテ容易ニ切斷シ又ハ潰孔シ得ルモノタルヘシ

第四條 鑄鐵ハ鑄造ノ際毎日熔爐毎ニ供試體ヲ作り次ノ試驗ヲ爲シ合格セルモノニ限ル

一 應張力 一平方吋ニ付キ一万七千封度以上ノ強度ヲ有スルヲ要ス

二 應撓度 長二十六吋幅二吋厚一時ノ供試體ヲ徑間二十四吋ノ支脚上ニ平ニ桁架シ中央ニ荷重シ其重量二千封度以上ニ耐ヘ且ツ中央ニ於テ十六分ノ五吋以上ノ撓度アルヲ要ス

應張力及應撓度ハ各三個ノ供試體ヲ試驗シ其平均ヲ以テ定ム  
第五條 直管ハ凡ヘテ承口ヲ下ニ向ケ乾砂ノ模型ニテ垂直ニ鑄造スヘシ但シ本市ノ承認ヲ受ケ承口ヲ上ニ向ケ鑄造スルコトヲ得此場合ニ於テハ承口ハ規定ヨリ一呎以上長ク鑄造シ旋盤コテ叮嚀ニ切取ルヘシ

第六條 鐵管ノ各部ニ不等ノ收縮或ハ不正形ヲ生セサラシメンカ爲メ鑄造後十分熱度ヲ去ル迄鑄造型ヨリ取り除クヘカラス

第七條 突緣管ハ其突緣ノ周邊ニ規定ノ繫釘孔ヲ穿チ且ツ突緣ハ凡ヘテ整正平滑ニシテ塗料ヲ施ス前ニ旋盤ヲ以テ接着面ヲ叮嚀ニ仕上クルモノトス突緣管接合用ボルト「ハ六角形ノ「ヘッド」及「ナット」ヲ備ヘ凡ヘテ最良ノ「マイルド」ステール」ヨリ製作スヘシ

第八條 鐵管ノ外面ニハ一定ノ場所ニ約八分ノ一時ノ高サニ次ノ文字及記號ヲ鑄出スヘシ

一 京都市水道徽章



二 各種別毎ニ鑄造ノ番號但シ不合格品ノ番號ハ繰返スコトヲ得ス



三 鑄造ノ年號

四 製造所名又ハ頭字商標ノ類

第九條 鐵管ハ鑄型ヨリ取出シタル後全體ヲ能ク研磨シ内外面ノ附着セル土砂塵埃等ヲ除去シ形狀寸法及鑄造上缺點ノ有無ヲ検査シタル上之ヲ華氏三百度内外ノ溫度ニ温メ臨時事業部技術長ノ承認スル同溫度ノ防銹液中ニ浸シ適當ノ時間ヲ經テ之ヲ取出シ乾燥セシムヘシ而シテ其包被面ハ黑色ニシテ稍光澤ヲ帶ヒ管ノ内外面共一様ニ平滑堅固ニ附着シ容易ニ剝脱シ能ハサルモノタルヘシ

第十條 鐵管ヲ研磨スルニ酸類又ハ他ノ藥品ヲ使用スルコトヲ得ヌ又研磨ノ後直チニ防銹液中ニ浸ス能ハサルトキハ其面ニ適當ナル防銹油ヲ塗リテ保存スヘシ

第十一條 塗料ノ十分乾燥シタル後規定ノ水壓試驗ヲ行フヘシ該試驗ハ管内水壓規定則チ別紙鐵管表第二號ニ屬スル全部及第一號中二十八吋二十六吋二十四吋十二吋及三吋半ノ直管及異形管ハ一平方吋ニ付キ二百六十封度其他ハ一平方吋ニ付キ百五十封度ニ達シタル後三分時間以上ヲ持續シ其時間内ニ重量凡ソ五封度ノ鐵槌ヲ以テ各部ヲ打チ漏水發汗其他ノ異狀ナキモノトス

第十二條 前條ノ試驗ヲ了リタル鐵管ハ正確ナル計量器ニ依リテ其重量ヲ檢シ白色「ペイント」ヲ以テ管ノ内面ニ字體明瞭ニ記入スヘシ

第十三條 鐵管製造中京都市ハ當該技術者ヲシテ材料及鑄造ノ事業ヲ監視シ本仕様書ノ條項ニ適合スルヤ否ヤヲ監督セシムルコトアルヘシ此場合ニ於テ監督者ハ製

造工場ノ何レノ部分ニモ自由ニ出入スルコトヲ得ヘク凡ヘテノ検査及試驗ハ其指揮及監督ニ從フヘキモノトス

第十四條 左ノ諸項ノ一ニ該當スル鐵管ハ之ヲ合格トス

- 一 直管ノ重量規定ヨリ百分ノ三以上異形管ノ重量規定ヨリ百分ノ六以上過少ナルモノ
- 二 直管ノ厚規定ヨリ十六分ノ一吋以上異形管ノ厚規定ヨリ三十二分ノ三吋以上過少ナルモノ
- 三 管ノ内徑規定ヨリ徑十六吋以下ノ管ニアリテハ十六分ノ一吋徑十六吋以上ノ管ニアリテハ六十四分ノ五吋以上過少ナルモノ
- 四 管ノ承口ノ内徑若クハ挿口ノ外徑規定ヨリ十六分ノ一吋以上過少又ハ過大ナルモノ
- 五 断面眞圓ナラスシテ管ノ内徑ノ差異四分ノ一吋以上ナルモノ
- 六 直管ノ長サ規定ヨリ二分ノ一吋以上不足スルモノ又ハ承口ノ深サ規定ヨリ四分ノ一吋以上過不足アルモノ
- 七 塗料ノ剝脱シタルモノ及銹蝕ヲ生シタルモノ
- 八 鑄造上缺點アリト認メタルモノ其他些少タリトモ本仕様書ニ違背スト認メタルモノ

第十五條 試驗ヲナスニ足ラスト認メタル鐵管ハ直ニ之ヲ擯却ス



第十六條 前數條ニ規定セル試験及検査ハ供給者ニ於テ自己ノ費用ヲ以テ製造場ニ於テ施行スルノ義務ヲ負フモノトス

第十七條 鐵管授與ノ際京都市ハ自己ノ費用ヲ以テ更ニ検査ヲ行ヒ最後ノ決定ヲ與フルモノトス運搬中破損セルモノ竝ニ此場合ニ於テ發見セラレタル不合格品ハ供給者ニ於テ指定期限内ニ他ニ搬出スヘキモノトス

不合格品ニ對シテハ鑄出シアル京都市水道徽章ヲ削除スヘシ

第十八條 鐵管ハ取扱及運搬ノ際表面ノ塗料ヲ毀損セサル様注意ヲナスヘシ又運搬中鐵管ノ内部ニ小鐵管又ハ他ノ物品ヲ挿入スヘカラス

第十九條 仕様書第十四條ニ該當スル鐵管ノ中技術長ニ於テ使用上差支ナシト認ムルモノニシテ用途アル分ニ限り特ニ減價ヲ以テ採用スルコトアルヘシ

第二十條 鐵管ノ寸法ハ特ニ指定セルモノ、外凡ヘテ呎吋ニシテ重量中噸トアルハ凡ヘテ英噸二千二百四十封度ヲ意味スルモノトス

第二十一條 本仕様書附錄鐵管表並分納表又ハ圖面中ニ記載シアル數字ニ誤謬アルヲ發見シタルトキハ隨時之ヲ訂正スルモノトス

第二十二條 鐵管ハ内國製外國製ノ何レニテモ差支ナシ但内國製ノ場合ニハ供給者自身ノ製造所ニ於テ鑄造シタルモノニ限り外國製ノ場合ニハ其製造所ハ京都市ノ承認ヲ得タルモノニ限ル而シテ同一供給者ニ於テ異ナリタル製造所ノ製品ヲ混合シテ納入スルヲ許サス

契約附屬書

第二十三條 本仕様書ノ條項ニ關シ疑義ヲ生シタルトキハ凡ヘテ臨時事業部技術長ノ決スル所ニ據ルモノトス

以上

契約附屬書

鑄鐵管分納表

第一分納期

(明治四十三年五月三十一日限)

管種	内徑	本數	一本ノ重量	合計重量		
直形管	一八吋	五〇〇	一、七七八	三八	八八九、一九〇	〇〇
同	一六吋	一八〇	一、四四七	七〇	二六〇、五八六	〇〇
同	一四吋	一六六	一、二六九	九二	二一〇、八〇六	七二
同	八吋	一〇〇	五三四	七二	五三、四七二	〇〇
同	六吋	四七〇	三五三	九二	一六六、三四二	四〇
同	五吋	三七〇	二二九	五一	八四、九一八	七〇















































同													丁字形ソケット 分岐管	
三六	四六	五六	六六	三八	四八	五八	六八	八八	三九	四九	五九	六九	三一	三六
时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时
半时	时	时	时	半时	时	时	时	时	半时	时	时	时	半时	半时
四五	三〇	一〇	一一	二	三	二	一	三	二	二	三	一	二	四五
一〇五九六四	一一二三九八	一一四五六三	一二〇九五〇	一六三一四二	一六八四三一	一七〇六五九	一七六三四九	一九四一六六	一九二三四四	一九六九六七	一九九三五〇	二〇五一六四	二二一六六一	一〇五九六四
四、七六八	三、三七一	一、一四五	一、四五一	三三六	五〇五	一七〇	三五二	三八八	三八四	五九〇	一九九	二〇五	四六三	四、七六八
三八〇	九四〇	六三〇	四〇〇	二八四	二九三	六五九	六九八	二二二	六六八	九〇一	三五〇	一六四	三三二	三八〇

同													丁字形ソケット 分岐管	同	同	同	同	同	同	同	同	同	直形管	管種		
五五	四五	三五	三四	三三	一	一	九	八	六	五	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	直形管	管種		
时	时	半时	半时	半时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	
时	时	半时	半时	半时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	
一〇	一〇	一五	一五	二一	三八五	一三〇	一一〇	二〇〇	二、七二〇	一、六六〇	二、三三〇	二、四九〇	二、四九〇	二、四九〇	二、三三〇	一、六六〇	二、七二〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
九四〇四六	九一七七一	八五二九九	六九〇八八	六〇六六八	九九三九五	七四一六五	五九六二一	五三四七二	三五三九二	二二九五	一七四九七	一五二六六	一五二六六	一五二六六	一七四九七	二二九五	三五三九二	五三四七二	五九六二一	七四一六五	九九三九五	六〇六六八	六九〇八八	八五二九九	九一七七一	九四〇四六
九四〇	九一一	一、二七八	一、〇三六	一、二七四	三八二、六七〇	九六、四一四	七一、五四五	一〇六、九四四	九六二、六六二	三八〇、九八六	二九〇、一八三	三八〇、二二三	三八〇、二二三	二九〇、一八三	三八〇、九八六	九六二、六六二	一〇六、九四四	七一、五四五	九六、四一四	三八二、六七〇	一、二七四	一、〇三六	一、二七八	九一一	九四〇	九四〇
四六〇	七一〇	五八五	三三〇	〇二八	七五	五〇	二〇	〇〇	四〇	六〇	一〇	四〇	四〇	一〇	六〇	四〇	〇〇	二〇	五〇	七五	〇二八	三三〇	五八五	七一〇	四六〇	四六〇











同	同	同	同	同	凸	同	同	同	同	同	同	同	管								
					形								スビゴツト片落								
					管																
九	八	六	五	四	三	九	一	六	八	五	六	四	六	三	六	四	五	三	五	三	四
						时	〇							时					时		时
时	时	时	时	时	半	时	时	时	时	时	时	半	时	时	半	时	半	时	半	时	半
五	一三	一四〇	六〇	一一〇	一四五	一	二	三	五	七	四	四	一〇								
九八五二〇	八五一八〇	五四七九〇	四二九四〇	三二八四〇	二六二七〇	二〇九二三〇	一四五三八二	九九一二九	九一九〇六	八八五四三	七六六五七	七三六〇二	六二五五五								
四九二	一、一〇七	七、六七〇	二、五七六	三、六一二	三、八〇九	二〇九	二九〇	二九七	四五九	六一九	三〇六	二九四	六二五								
六〇〇	三四〇	六〇〇	四〇〇	四〇〇	一五〇	二二〇	七六四	三八七	五三〇	八〇一	六二八	四〇八	五五〇								

五五

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同														
													ソケツト片落管														
一	一	九	一	八	一	六	一	三	一	八	九	六	九	六	八	五	六	四	六	三	六	四	五	三	五	三	四
〇	二	二	二	二	时	〇														时			时		时		
时	时	时	时	时	半	时	时	时	时	半	时	时	时	时	时	时	时	半	时	时	半	时	半	时			
三	三	七	八	二	一	二	一	四	六	四	八	四	一七														
三二八六二四	三一〇六四八	二九五四九四	二五四八九四	一三五四一七	一六八一七一	一四〇八三七	一三二六七〇	九四六三〇	八六九三六	八〇五二五	七四四〇七	六七四〇三	五八五四四														
九八五	九三一	二、〇六八	二、〇三九	二七〇	一六八	二八一	一三二	三七八	五二一	三三二	五九五	二六九	九九五														
八七二	九四四	四五八	一五二	八三四	一七一	六七四	六七〇	五二〇	六一六	一〇〇	二五六	六一二	二四八														

五四







同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	丁字形 分岐管 ソケット
六九	五九	四九	三九	八八	六八	五八	四八	三八	六六	五六	四六	三六	五五	
			时				时					时		
时时	时时	时时	半时	时时	时时	时时	时时	半时	时时	时时	时时	半时	时时	
一	二	三	三	四	四	二	七	五	八	七	二〇	三〇	五	
二〇五一六四	一九九三五〇	一九六九六七	一九二二三三	一九四一六	一七六三四九	一七〇六五九	一六八四三一	一六三一四二	一二〇九五〇	一一四五六三	一一二三九八	一〇五九六四	九四〇四六	
二〇五	三九八	五九〇	五七七	七七六	七〇五	三四一	一一七九	八一五	九六七	八〇一	二二四七	三一七八	四七〇	
一六四	七〇〇	九〇一	〇〇二	四六四	三九六	三一八	〇一七	七一〇	六〇〇	九四一	九六〇	九二〇	二二〇	

五九

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	直形 管
四五	三五	三四	三三	三	四	五	六	八	九	一	一	一	一		
	时	时	时时	时						〇	二	八			
时时	半时	半时	半半	半	时	时	时	时	时	时	时	时	时		
六	一〇	八	五	一、二五〇	一、七〇〇	一、九八〇	二、七六〇	一五〇	四三〇	三〇	四九〇	一一〇			
九一七七一	八五二三九	六九〇八八	六〇六六八	一五二六六	一七四九七	二二九五	三三三九二	五三四七二	五九六二二	七四一六五	九九三九五	一、七七八三八			
五四七	八五二	五五二	三〇三	一九〇、八二五	二九七、四四九	四五四、四二九	九七六、八一九	八〇、二〇八	二五六、三七〇	二二、二四九	四八七、〇三五	一九五、六二一			
〇二六	三九〇	七〇四	三四〇	〇〇	〇〇	八〇	二〇	〇〇	三〇	五〇	五〇	八〇			

五八







ソケット片落管	同	同	同	同	管	スビゴツト片落	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三四	一	八	六	五	四	三	一	一	九	八	六	五	四	三	二	二	一	一	一
半时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时
一〇	一	五	二〇	一五	五	四	三	一〇	四	五	三〇	一五	一〇	五	二〇	一五	五	四	三
五八五四四	六四三一八〇	一五〇〇二〇	九〇一二〇	六六三七〇	五二二二〇	四四一四〇	六四三一八〇	二八八三五〇	一六六二四〇	一五〇〇二〇	九〇一二〇	六六三七〇	五二二二〇	四四一四〇	六四三一八〇	二八八三五〇	一六六二四〇	一五〇〇二〇	九〇一二〇
五八五	六四三	七五〇	一、八〇二	九九五	二六一	一七六	一、九二九	二、八八三	六六四	七五〇	二、七〇三	九九五	五二三	一、八〇二	九九五	二六一	一七六	一、九二九	二、八八三
四四〇	一八〇	一〇〇	四〇〇	五五〇	六〇〇	五六〇	五四〇	五〇〇	九六〇	一〇〇	六〇〇	五五〇	二〇〇	四〇〇	五五〇	六〇〇	五六〇	五四〇	五〇〇

九十度ソケット曲管	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三四	一	八	六	五	四	三	一	一	九	八	六	五	四	三	二	二	一	一	一
半时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时	时
一〇	一	五	二〇	一五	五	四	三	一〇	四	五	三〇	一五	一〇	五	二〇	一五	五	四	三
五八五四四	六四三一八〇	一五〇〇二〇	九〇一二〇	六六三七〇	五二二二〇	四四一四〇	六四三一八〇	二八八三五〇	一六六二四〇	一五〇〇二〇	九〇一二〇	六六三七〇	五二二二〇	四四一四〇	六四三一八〇	二八八三五〇	一六六二四〇	一五〇〇二〇	九〇一二〇
五八五	六四三	七五〇	一、八〇二	九九五	二六一	一七六	一、九二九	二、八八三	六六四	七五〇	二、七〇三	九九五	五二三	一、八〇二	九九五	二六一	一七六	一、九二九	二、八八三
四四〇	一八〇	一〇〇	四〇〇	五五〇	六〇〇	五六〇	五四〇	五〇〇	九六〇	一〇〇	六〇〇	五五〇	二〇〇	四〇〇	五五〇	六〇〇	五六〇	五四〇	五〇〇



同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	凹形管
一	九	八	六	五	四	三	一	一	一	九	八	六	五
〇						時	八	二	〇				
時	時	時	時	時	時	半	時	時	時	時	時	時	時
一〇	二〇	一〇	一五〇	八〇	五〇	三〇	四	五	二	五	五	二〇	一五
八三六〇〇	七六二三〇	六九六八〇	四四三六〇	三八七四〇	三二九三〇	三〇三〇〇	二七二三五〇	一三九四七〇	九九二三〇	八四六〇〇	七二七三〇	四五五一〇	三六五六〇
八三六	一、五二四	六九六	六、六五四	三、〇九九	一、六四六	九〇九	一、〇八九	六九七	一九八	四二三	三六三	九一〇	五四八
〇〇〇	六〇〇	八〇〇	〇〇〇	二〇〇	五〇〇	〇〇〇	四〇〇	三五〇	四六〇	〇〇〇	六五〇	二〇〇	四〇〇

六五

同	凹形管	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	凸形管	同	同	管	スビゴット片落
四	三	一	一	一	九	八	六	五	四	三	一	一	六	八	五	六
時	半	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	半	時	時	時	時
五	一〇	三	一〇	四	五	二〇	一〇〇	五〇	五〇	五〇	二	三	三			
三二四二〇	二二八六〇	三〇六三五〇	一六二五八〇	一一九八六〇	九八五二〇	八五一八〇	五四七九〇	四二九四〇	三二八四〇	二六二七〇	六三五七〇	一四五三八二	九九一二九			
一五七	二二八	九一九	一、六二五	四七九	四九二	一、七〇三	五、四七九	二、一四七	一、六四二	一、三二三	一、二七一	四三六	二九七			
一〇〇	六〇〇	〇五〇	八〇〇	四四〇	六〇〇	六〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	五〇〇	四二〇	一四六	三八七			

六四



管種	内徑	本數	一本ノ重量	合計重量
直形管	一八吋	一〇	一、七七八・三八〇	一七、七八三・八〇〇
同	一二吋	九四〇	九九三・九五〇	九三四、三一三・〇〇〇
同	九吋	三四六	五九六・二一〇	二〇六、二八八・六六〇
同	六吋	一、八四〇	三五三・九二〇	六五一、二二二・八〇〇
同	五吋	一、七九〇	二二九・五一〇	四一〇、八二二・九〇〇
同	四吋	一、四四〇	一七四・九七〇	二五一、九五六・八〇〇
同	三吋	二、五五〇	一五二・六六〇	三八九、二八三・〇〇〇
丁字形ソケット	三吋半	八	六〇・六六八	四八五・三四四
同	三吋	一〇	六九〇・八八	六九〇・八八〇
同	三吋半	一五	八五二・三三九	一、二七八・五八五
同	四吋	七	九二一・七七一	六三八・一九七

六七

第五分納期

(明治四十四年四月三十日限)

管種	内徑	本數	一本ノ重量	合計重量
シンプル管	一八吋	二〇	二二七・二九〇	二、三四五・八〇〇
同	一四吋	五	二二三・七七〇	一、〇六八・八五〇
同	一〇吋	三〇	一四一・五〇	四二四・五〇〇
同	八吋	三〇	一六六・五〇	四九九・五〇〇
同	六吋	一〇	二二五・九〇	二、二一五・九〇〇
同	五吋	一〇	二五八・九〇	二、五八九・〇〇〇
同	四吋	一〇	六三六・〇〇	一、七八〇・八〇〇
同	三吋	八六	八一〇・九〇	六、九七三・七四〇
同	三吋	一〇八	一〇一・五二〇	一〇、九六四・一六〇
同	三吋	三五	一五七・四九〇	五、五二一・一五〇
同	三吋	一〇	一八五・三〇〇	一、八五三・〇〇〇
同	三吋	七	三〇〇・四〇	二、一〇〇・二八〇
計		一〇、四八三	三、〇九六、九六六	三、〇九六、九六六・六一七
(以上配水用)				一、三八二、五七四

六六











管種	内径	本数	一本ノ重量	合計重量
直形管	三吋半	四六〇	一五二六六〇	七〇、三三三
同	四吋	二、〇六〇	一七四九七〇	三六〇、四三八
同	五吋	一、四六〇	二二九五一〇	三三五、〇八四
同	六吋	二、〇〇〇	三三三九二〇	七〇七、八四〇
同	八吋	八八〇	五三四七二〇	四七〇、五五三
同	〇吋	一五〇	七四一六五〇	一一一、二四七
同	二吋	二七〇	九九三九五〇	二六八、三六六
同	六吋	一三七	一、四四七七〇〇	一九八、三三四
同	八吋	一五〇	一、七七八三八〇	二六六、七五七
丁字形ソケット	三吋半	八	六〇六六八	四八五
同	三吋半	一〇	六九〇八八	六九〇

第六分納期

(明治四十四年七月三十一日限)

シンプル管	三吋	六〇	三〇三〇〇	一、八一八	〇〇〇
同	四吋	一〇七	三二九三〇	三、五二三	五一〇
同	五吋	一四五	三八七四〇	五、六一七	三〇〇
同	六吋	一五〇	四四三六〇	六、六五四	〇〇〇
同	九吋	一五	七六二三〇	一、一四三	四五〇
同	一二吋	三九	一一七二九〇	四、五七四	三一〇
同	一八吋	一〇	二二三七七〇	二、一三七	七〇〇
キャップ管	三吋半	八五	一四一五〇	一、二〇二	七五〇
同	四吋	六〇	一六六五〇	九九九	〇〇〇
同	五吋	七	二二五九〇	一五一	一三〇
同	六吋	八	二五八九〇	二〇七	一一〇
計		一〇、六七二		二、九九三、二〇〇	三三五
(以上配水用)				一、三三三、五〇二	















第二分納期	第三分納期	第四分納期	第五分納期	第六分納期	第七分納期	淨水	配水	合計
八、四五八	一二、三六四	一〇、四八三	一〇、六七二	九、二四八	七、七六〇	六二、八三五	九二	六二、八三五
二四〇二、六六一七	二、九三五、七九八四	三、〇九六、九六六八	二、九九三、二〇〇三	二、九〇四、九六六二	二、八三九、七八六二	一九、二一四、七六六九	六一、二九七、五六〇	一九、二一四、七六六九
一、〇七二、六一六八	一、三一〇、六二四三	一、三八二、五七四四	一、三三六、二五〇二	一、二九六、八六〇一	一、二六七、七六一七	八、五七八、〇二〇九	二七、三六四九	八、五七八、〇二〇八
八、四五八	一二、三六四	一〇、四八三	一〇、六七二	九、二四八	七、七六〇	六二、八三五	九二	六二、八三五
二四〇二、六六一七	二、九三五、七九八四	三、〇九六、九六六八	二、九九三、二〇〇三	二、九〇四、九六六二	二、八三九、七八六二	一九、二一四、七六六九	六一、二九七、五六〇	一九、二一四、七六六九
一、〇七二、六一六八	一、三一〇、六二四三	一、三八二、五七四四	一、三三六、二五〇二	一、二九六、八六〇一	一、二六七、七六一七	八、五七八、〇二〇九	二七、三六四九	八、五七八、〇二〇八

備考 契約後重量増減ニ依リ調査シタルモノナリ四十四年二月二十五日  
第一號表ノ甲

鐵管購入仕様書附録(内徑二十)鐵管表 淨水用

管種	内徑	一本ノ重量	本數	重量合計	單價	金額	摘要
直形管	三吋半	一五二	七	一、〇六八	六二	四五二五	三一六七五
同	四吋	一七四	二二	三、八四九	三四	五一八六	一四四〇九二
同	六吋	三五三	九	三、一八五	二八	一〇四八〇	九四三二〇
同	八吋	五三四	一三	六、九五二	三六	一五八四九	二〇六〇三七
同	一二吋	九九三	三四	三三、七九四	三〇	二九四六一	一、〇〇一、六七四
同	一八吋	一、七七八	七	一二、四四八	六六	五二七一	三六八九七七
計			九二	六一、二九七	五六	二七、三四九	一、八一六、七七五
管片	六吋	三四八	八	二、七八八	〇〇	一五六八三	一二五四六四



































同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	凹形管二吋
一六吋	一四吋	一二吋	一〇吋	九吋	八吋	六吋	五吋	四吋	三吋半	一八吋	一六吋	一四吋	一三九
一六六	一三四	一一七	八三	七六	六九	四四	三八	三三	三〇	二七二	二三四	一八三	四七
九六	三三	二九	六〇	二二	六八	三六	七四	九三	三〇	三五	三九	三三	二九
一六	五	一六四	三四	一一〇	一一五	八七〇	六一五	四三〇	三八九	八	四	一	二九
二、六七	六七	一九、一三五	二、八四二	八、三八五	八、〇一三	三八、五九三	二、三八二五	一四、一五九	一一、七八六	二、一七八	八九七	一八三	四、〇四四
三六	六五	五六	四〇	三〇	二〇	二〇	一〇	九〇	七〇	八〇	五六	三三	六三
七五	六〇四五	五二七八	三七六二	三四三〇	三一三六	一九九六	一七四三	一四八二	一三六四	一二二五六	一〇〇九八	八二六三	六二七六
一一〇二〇八	三〇二二五	八六五五九二	一二七九〇八	三七七三〇〇	三五〇六四〇	一、七三六五二〇	一、〇七一九四五	六三七二六〇	五三〇五九六	九八〇四八	四〇三九二	八二六三	一八二〇〇四

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	凸形管八吋
一〇吋	九吋	八吋	六吋	五吋	四吋	四吋	三吋半	一八吋	一六吋	一四吋	一二吋	一〇吋	九吋
九九	八四	七二	四五	三六	三一	二二	三〇六	二五三	二二一	一六二	一一九	九八	八五
二三	六〇	七三	五一	五六	四二	八六	三五	九八	四七	五八	八六	五二	一八
六	二〇	二五	一一二	八一	三四	四四	七	四	一	六一	一四	四四	二六
五九五	一、六九二	一、八一八	五、〇九七	二、九六一	一、〇六八	一、〇〇五	二、一四四	一、〇一五	二二一	九、九一七	一、六七八	四、三三四	九、八八〇
三八	〇〇	二五	一一	三六	二八	八四	四五	九三	四七	三八	〇四	八八	八八
四四六五	三四一七	三二七三	二〇五八	一六四五	一四一四	一〇二九	一三七八六	一一四二九	九五二六	七三六	五三九四	四四三三	三八三三
二六七九〇	六八三四〇	八一八二五	二二〇四九六	一三三二四五	四八〇七六	四五二七六	九六五〇二	四五七二六	九五二六	四四六二七六	七五五二六	一九五〇五二	四四六二八







引渡場所 京都市岡崎公園内鐵管試驗工場内  
 右金額ヲ以テ前記ノ鑄鐵管供給ヲ引受候ニ就テハ明治四十二年一月二十五日京都市  
 公告第六號工事施行規程及左記追加契約事項ヲ遵守シ且仕様書圖面ノ通期限内ニハ  
 必ス引渡可致仍テ契約書差出候也

東京市京橋區北紺屋町十二番地

供給人 田中長兵衛

代人 加藤要藏

明治四十三年二月五日

京都市參事會

京都市長西郷菊次郎殿

追加契約事項

第一條 京都市ハ都合ニ依リ契約鐵管ノ數量管種等ヲ増減變更スル事アルヘシ此場  
 合ニ於テ其増減又ハ變更ノ數量カ重量ニ於テ全額ノ百分ノ二十ヲ超過セス且其通  
 知カ製造所カ外國ノ場合ニハ五箇月製造所カ内地ノ場合ニハ三箇月以前ニ發セラ  
 レタルトキハ供給人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス毎期分納ノ數量管種ヲ變更セントスル  
 トキ亦同シ右場合ニ於テ供給代金ノ増減ハ契約單價ニ依リテ之ヲ計算スルモノト  
 ス

第二條 代金ハ仕様書第十九條ニ該當スルモノヲ除キ總テ規定重量ニ依リ契約單價

ヲ以テ算定スルモノトス

第三條 代金ハ引渡ヲ完了シタル一納期毎ニ其全額ヲ支拂フモノトス但シ每期引渡  
 完了以前ニ於ケル内渡金ハ引渡済ニ對スル代金ノ十分ノ九トス

第四條 第三期分迄ノ引渡ヲ完了シタル後ハ支拂代金高ニ相當スル契約保證金ヲ還  
 付スル事アルヘシ

附記 鑄鐵管購入仕様書ハ前掲ノ久保田權四郎供給契約書ニ附屬セシモノト同一  
 ナルヲ以テ之ヲ畧ス須ク前文ト參照スヘシ

契約附屬書

鑄鐵管分納表

第一分納期

(明治四十三年五月三十一日限)

管種	内徑	本數	一本ノ重量	合計重量
直形管	二四吋	四四〇	二七六三	一、二一五、九五三
九十度フレンヂ曲管	二四吋	四	一、一三三	四、五三五
				六〇



















管種	内徑	本數	一本ノ重量	合計重量
直形形	二吋	一、一四三	二、五五〇*	二、九一四、八三二*
丁字形ソケット	二吋	一一	九五八六〇四	一一、五〇三
分岐管	二吋	一一	九一七	一一、〇一四
丁字形フレンヂ	二吋	一一	九一七	一一、〇一四
分岐管	二吋	一一	九一七	一一、〇一四
ソケット十字形	二吋	八	一、〇〇三	八、〇二七
管	二吋	八	一、〇〇三	八、〇二七
九十度ソケット	二吋	三	一、〇四七	三三、五一五
曲管	二吋	三	一、〇四七	三三、五一五
四十五度ソケット	二吋	一七	一、〇四七	一七、八〇五
ト曲管	二吋	一七	一、〇四七	一七、八〇五
スピゴット片落	〇二吋	四	九四一〇六〇	三、七六四
管	〇二吋	四	九四一〇六〇	二四〇
凸形管	二吋	一一	四四〇	五、二八一
凹形管	二吋	八	四四二	三、五四三
シンブル管	二吋	五五	三一一	一七、一五一
計	二吋	三、〇三三	三、〇三三	三、〇三三
(以上配水用)				一、三五二〇八九一

第四分納期

(明治四十四年一月三十一日限)

管種	内徑	本數	一本ノ重量	合計重量
直形管	二六吋	一六一	三、二三七*	五二二、二六九*
同	二四吋	九二〇	二、七六三	二、五四二、四四七
計		一、〇八一	五三	三、〇六三、七一七
(以上配水用)				一、三六七七三〇九

第五分納期

(明治四十四年四月三十日限)

管種	内徑	本數	一本ノ重量	合計重量
直形管	二四吋	一、〇八七	二、七六三*	三、〇〇三、九五七*
計		一、〇八七	五三	三、〇〇三、九五七
(以上配水用)				一、三四一〇五三三



第六分納期

(明治四十四年七月三十一日限)

管種	内徑	本數	一本ノ重量	合計重量
直形管	二〇吋	九四七	二、一四二・一九	二、〇二八、六五三・九三
丁字形ソケット	二〇吋	一五	八三・五七九	一二、二〇三・六八五
分岐管	二〇吋	一〇	七六・七	七、六七八・六〇
丁字形フレンヂ	二〇吋	一〇	八六・六	四、三三三・四五
ソケット十字形	二〇吋	五	八六・六	一六、六五〇・九〇
九十度ソケット	二〇吋	二二	七九・二	一〇、三〇七・七〇
曲管	二〇吋	一三	七九・二	二、三二六・三〇〇
四十五度ソケット	二〇吋	三	七九・二	二、八四六・六四
ト曲管	二〇吋	三	七九・二	二、七六〇・四〇
スピゴット片落	二〇吋	八	三五・五	二、七六〇・四〇
管	二〇吋	八	三五・五	二、七六〇・四〇
凸形管	二〇吋	八	三五・五	二、七六〇・四〇
凹形管	二〇吋	八	三五・五	二、七六〇・四〇
シンブル管	二〇吋	五	二三五・八	一、二、九七三・〇四

カッブ管	内徑	本數	重量合計	單價	金額	摘要
計	二〇吋	一、〇八六	二四〇・三七		二、四〇・三七	
(以上配水用)						
			二、一〇〇、九六五		三、七五	
			九三七		九三一	

總計 六、七三二<sup>本</sup>

一六、四八七、八七〇、〇六七  
七、三六〇、六五六二

第一號表ノ甲

鐵管購入仕様書附録(内徑二十吋以上)鐵管表

淨水用

管種	内徑	本數	重量合計	單價	金額	摘要
直形管	二四吋	一三	三九、〇四六 <sup>計</sup>		二八	
同	二六吋	四八	一六八、七七七		六〇	
同	二八吋	九一	三四三、一八六		四八	
同	三〇吋	七	二五、四七九		九三	











管種	内徑	一本ノ(重量)	本數	重量合計	單價	金額	額摘要		
ラッドルカ	二八吋	四五〇	六四	二	九〇一	二八	二〇七二二	四一四四四	
同	三〇吋	五〇一	〇四	三	一、五〇三	一二	二三〇三九	六九一七	
同	三六吋	六二五	〇四	一七	一〇、六二五	六八	二八七四一	四八八五九七	
特別形ラッドルカ	三〇吋	四二八	二〇	八	三、四二五	六〇	一九六九〇	一五七五二〇	
管	二四吋	三九八	七九〇	一〇	三、九八七	九〇〇	一八三三八	一八三三八〇	
同	二六吋	四四七	七二〇	一	四四七	七二〇	二〇三八三	二〇三八三	
同	二八吋	五一〇	七四六	二	一、〇二二	四九二	二三四八六	四六九七二	
同	三〇吋	五三九	〇六七	二〇	一〇、七八一	三四〇	二四七八八	四九五七六〇	
同	三六吋	六七〇	七二〇	一七	一一、四〇二	二四〇	三〇八四二	五二四三一四	
特別管	三六吋	二、九三九	〇七	二	五、八七八	一四〇	一四〇五二〇	二八一〇四〇	
計			三四三	五〇三、〇二二	七七一	二二四、五三七	一〇三、〇〇〇	二二、一三〇〇六	解約代金 九九二、七〇四

備考 表中ニ明記ナキモ接合用「ボルト」及「ナット」一切ヲ含ムモノトス

第一號表ノ乙

鐵管購入仕様書附録(内徑二十吋未滿)鐵管表

淨水用

管種	内徑	一本ノ(重量)	本數	重量合計	單價	金額	額摘要
直形管	二四吋	二、七六三	五三	一四	三八、六八九	四二	
同	二六吋	三、二三七	七〇	五三	一七一、五九八	一〇	
同	二八吋	三、四七二	八一	九九	三四三、八〇八	一九	九、三六二六二八
同	三〇吋	三、三三三	〇〇	八	二六、八二四	〇〇	七三〇、四九七
計			一七四	五八〇、九一九	七二	二五九、三九九	一五、八一六八〇

第二號表ノ甲

鐵管購入仕様書附録(内徑二十吋以上)鐵管表

配水用

管種	内徑	一本ノ(重量)	本數	重量合計	單價	金額	額摘要
----	----	---------	----	------	----	----	-----







四十五度曲管	二十六吋	一、四三一	三三	一四	二〇、〇三八	四八	六五八一五	九二一四一〇
三十度曲管	二十四吋	一、二二六	八五	一一	一三、三八五	三五	五五九五四	六一五四九四
同	二十六吋	一、四三一	三三	三	四、二九三	九六	六五八一五	一九七四四五
二十二度半曲管	二十四吋	一、二一六	八五	一三	一五、八一九	〇五	五六〇三〇	七二八四〇二
同	二十六吋	一、四三一	三三	二	二、八六二	六四	六五八一五	一三一六三〇
スビゴット片落管	二〇吋	七七一〇〇		三	二、三一六三〇	〇〇	三五五〇三	一〇六五〇九
同	二二吋	九四一〇六〇		四	三、七六四二四	〇〇	四三二七二	一七三〇八八
同	二四吋	一、〇〇六四五〇		四	四、〇二五八〇	〇〇	四六二七九	一八五一一六
同	二六吋	一、一八八四四〇		一	一、一八八	四四	五四六四七	五四六四七
凸形管	二〇吋	三五五	八三	八	二、八四六	六四	一六三六二	一三〇八九六
同	二二吋	四四〇	一一	一一	五、二八一	四四	二〇二三八	二四二八五六
同	二四吋	五三一	五一	一九	一〇、〇九八	六九	二四四四〇	四六四三六〇
同	二六吋	五七八	一三	五	二、八九〇	六五	二六五八五	一三二九二五
凹形管	二〇吋	三四五	〇五	八	二、七六〇	四〇	一五八五七	一二六八五六

凹形管	二二吋	四四二	九四	八	三、五四三	五二	二〇三五八	一六二八六四
同	二四吋	四七四	九二	一四	六、六四八	八八	二一八二八	三〇五五九二
同	二六吋	五五一	二〇	七	三、八五八	四〇	二五三四六	一七七四二二
シンブル管	二〇吋	二三五	八八	五五	一一、九七三	四〇	一〇八四七	五九六五八五
同	二二吋	三一一	八五	五五	一七、一五一	七五	一四三四〇	七八八七〇〇
同	二四吋	三三七	九〇	六九	二一、三一五	一〇	一五五三八	一、〇七二一一
同	二六吋	三八二	八九	二三	八、八〇六	四七	一七六〇七	四〇四九六一
カップ管	二〇吋	二四〇	三七	一	二四〇	三七	一〇〇五三	一〇〇五三
フレンヂ片	二四吋	九七〇	三九	一	九七〇	三九	四四六二五	四四六二五
落管	一八吋			六三七	四八四、一三二	六五		
計					二一六、三二九	一〇三、〇〇〇	二二、二六〇	五五〇

備考 表中明記ナキモ接合用ボルト及ナット一切ヲ含ムモノトス  
第二號表ノ乙



鐵管購入仕様書附錄(内徑二十吋以上直管)鐵管表

配水用

一一六

管種	内徑(一本ノ)重量	本數	重量合計	單價	金額	額摘要
直形管	二〇吋	二、一四二	九四七、二〇二八、六五三	九三	五八三、三六	五五、二四四、一九二
同	二二吋	二、五五〇	一、一四三、二九一四、八三二	八八	六九四、四六	七九、三七六、七七八
同	二四吋	二、七六三	二、七七七、七六七四、三三二	八一	七五二、五七二〇八、九八八、六八九	
同	二六吋	三、二三七	七、一一三、三〇二、〇〇四	七〇	八八一、六九九九	六二、六八八、八六一
計		七〇	五、五七八、一四九、九八四、三三二	三二	六、六六〇、六三一五	六一〇〇〇、四〇六、二九八、五二〇

第一分納期	本數	封度	數	噸	數
1、101	1、101	1、101	1、101	1、101	1、101
1、101	1、101	1、101	1、101	1、101	1、101

第二分納期	第三分納期	第四分納期	第五分納期	第六分納期	淨水	配水	合計
1、〇七四	1、四八一	1、〇八七	1、三〇三	1、〇八六	一七四	六三七	六、七三二
二、八六七、七七七、三三二	三、〇六三、七一七、三四	三、〇〇三、九五七、一一	三、〇二六、四三九、六四八	二、一〇〇、九六五、三七五	五八〇、九一九、七一	四八四、一一三、二六五	一六、四八七、八七〇、〇六七
一、二八〇、二五七七	一、三六七、七三〇、九	一、三四一、〇五二三	一、三五一、〇八九一	九三七	二五九、三三九一	二二四、五六三七	七三、六〇六、五六一
五、五七八、一四九、九八四、三三二	六、六六〇、六三一五	六、六六〇、六三一五	六、六六〇、六三一五	六、六六〇、六三一五	六、六六〇、六三一五	六、六六〇、六三一五	六、六六〇、六三一五

一一七



制水瓣購入

明治四十三年一月十四日市參事會ニ於テ制水瓣五百九十八個購入ノ議ヲ決ス此ノ豫定價格ヲ貳萬百五拾七圓七拾錢トナス同月二十五日川崎造船所外十三個處ノ製造所ヲ指名シテ競争入札ヲ行フ其ノ結果左ノ如シ

一制水瓣三吋半以上十八吋以下合計五百九十八個

此豫定價格貳萬百五拾七圓七拾錢也

右配水及淨水管布設工費用トシテ專業者十名以上ノ指名競争入札ニ付シ購入セントス入札不成立ノ場合ハ隨意契約ニ依ルモノトス

指名入札人

川崎造船所 神戸三菱造船所 大阪鐵工所 東京堅鐵製作所 永瀨鐵工所 東京石川島造船所 中島三工所 浦賀船渠株式會社 松尾工場 紀野吉鐵工所 芝浦製作所 久保田鐵工所 田中製鐵所 小森鐵工所

明治四十三年一月二十五日入札執行

入札結果報告

金額	入札者氏名
三二、六七九・〇〇〇	川崎造船所代 永留小太郎
二四、三四九・四〇〇	大阪鐵工所 藤井常世
一五、八七二・八四〇	久保田鐵工所 久保田權四郎
二二、二一〇・〇〇〇	紀野吉鐵工所 栗本勇之助
二六、六五〇・〇〇〇	東京堅鐵製作所 植田六郎平
二一、三五九・〇〇〇	永瀨鐵工所 増田重吉
二六、六九一・〇〇〇	松尾工場 松尾廣吉
三〇、八五〇・〇〇〇	東京石川島造船所
二二、八四〇・〇〇〇	天滿小森鐵工所 富松辰治郎
二五、八五六・〇〇〇	田中製鐵所 加藤要藏

明治四十三年二月五日右入札ノ結果ニ由リ久保田權四郎ヲ以テ供給人ト定メ左ノ契約ヲ徴ス



制水辦供給契約書

一 制水辦 自三時半 至十八時 十一種 五百九十八個

但種別及員數內譯ハ別紙仕様書附屬書之通

右供給代金壹萬五千八百七拾貳圓八拾四錢

此供給契約保證金壹千五百八拾八圓也

引渡期限 十八時以下十時迄ハ四十三年五月末日限リ  
其他ハ同年八月末日限リ

引渡場所 京都市岡崎公園内鐵管試驗工場内

右金額ヲ以テ前記ノ制水辦供給ヲ引受ケ候ニ付テハ明治四十二年一月二十五日京都  
市公告第六號工事施行規程及左記追加契約事項ヲ遵守シ且仕様書圖面之通期限内ニ  
ハ必ス引渡可致仍テ契約書差出候也

明治四十三年二月五日

京都市參事會

京都市長西郷菊次郎殿

追加契約事項

大阪市南區北高岸町

供給人

久保田 權四郎

各種鐵蓋購入

第一條 代金内渡ノ場合ハ既納部分ニ對スル代金ノ十分ノ九トス

明治四十三年一月十四日市參事會ニ於テ大小制水辦及防火栓ノ鐵蓋購入ヲ決定シ此  
カ請負價格ヲ川崎造船所外十四個處ノ製造所ニ徵ス

一 大形水辦鐵蓋十一個

此豫定價格金貳拾九圓七拾錢

一 小形水辦鐵蓋五百六十個

此豫定價格金千六拾四圓

一 防火栓鐵蓋五百個

此豫定價格金參千圓

合計四千九拾參圓七拾錢

右配水管布設工事に用トシテ專業者十名以上ヲ指名シ競争入札ニ付シ最低價ニシテ豫  
算範圍内ノモノヨリ購入セントス入札不成立ノ場合ハ隨意契約ニ依ル



指名入札人  
 川崎造船所 東京堅鐵製作所 久保田鐵工所 大阪鐵工所 神戸三菱造船所 紀野吉鐵工所 永瀨鐵工所 天滿小森鐵工所 中島三工所 東京石川島造船所 松尾工場 浦賀船渠株式會社 芝浦製作所 櫻印刷機械製造會社 田中製鐵所  
 明治四十三年一月二十五日入札執行

入札結果報告

金額	入札者	氏名
七、七五八・〇〇〇	川崎造船所代	永留小太郎
四、六九八・五〇〇	大阪鐵工所	藤井常世
四、九三三・九六〇	久保田鐵工所	久保田權四郎
三、二五〇・〇〇〇	紀野吉鐵工所	栗本勇之助
五、一〇〇・〇〇〇	東京堅鐵製作所	植田六郎平
四、〇三二・〇〇〇	永瀨鐵工所	増田重吉
六、二〇〇・〇〇〇	松尾工場	松尾弘吉

物品供給契約書

右之結果ニ由リ大阪市小森元藏ノ見積價格低廉ナリシヲ以テ同人ヲ請負人ト定メ左ノ契約ヲ徵ス

物品供給契約書

- 一 制水瓣鐵蓋二種 五百七十一個
- 一 防火栓鐵蓋 五百個

此供給代金貳千八百七拾圓九拾八錢也  
 此契約保證金貳百八拾八圓也

納入場所 京都市岡崎町鐵管試驗工場構内  
 引渡期限 明治四十三年八月三十一日限り

右金額ヲ以テ前記ノ物品供給ヲ引受候ニ就テハ明治四十二年一月二十五日京都市公告第六號工事規程ヲ遵守シ圖面仕樣書ノ通り期限内ニハ必ス引渡可致依テ契約書差



出候也

大阪市北區空町一丁目

、供給人 小森元藏代人

富松辰治郎

明治四十三年一月二十八日

京都市參事會

市長西郷菊次郎殿

防火栓購入

防火栓購入

一防火栓三吋 五百個

此豫定價格金七千七百五十拾圓

右配水管布設工事用トシテ指名入札ヲ以テ購入セントス但入札不成立ノ場合ハ隨意契約ニ依ルモノトス

指名入札人

川崎造船所 神戸三菱造船所 大阪鐵工所 永瀨鐵工所 東京堅鐵製作所 中島

三工所 久保田鐵工所 紀野吉鐵工所 松尾工場 芝浦製作所 東京石川島造船所 田中製鐵所 浦賀船渠株式會社 櫻印刷機械製造會社  
明治四十三年一月二十五日執行  
入札結果報告

金額	入札者	氏名
九、三二〇・〇〇〇	川崎造船所代	永留小太郎
九、六七〇・〇〇〇	神戸三菱造船所代	大浦源之助
六、九五五・〇〇〇	大阪鐵工所	藤井常世
五、四一七・五〇〇	久保田鐵工所	久保田權四郎
五、八九〇・〇〇〇	紀野吉鐵工所	栗本勇之助
六、四四〇・〇〇〇	永瀨鐵工所	増田重吉
七、五〇〇・〇〇〇	松尾工場	松尾廣吉
五、三八四・〇〇〇	天滿小森鐵工所	富松辰治郎
一四、五〇〇・〇〇〇	東京堅鐵製作所	植田六郎平



一〇、八五〇・〇〇〇  
〇七、七〇〇・〇〇〇  
〇六、二五〇・〇〇〇

東京 石川島造船所  
田中製作所 加藤要造  
櫻印刷機械製造會社 平井權七

物品供給契約書

一 防火栓三吋五百個

此供給代金五千參百八拾四圓八拾錢也

此契約保證金五百參拾九圓也

納入場所 京都市岡崎町鐵管試驗工場構内

引渡期限 明治四十三年八月三十一日限リ

右金額ヲ以テ前記ノ物品供給ヲ引受候ニ就テハ明治四十二年一月二十五日京都市公  
告第六號工事施行規程ヲ遵守シ圖面仕樣書之通期限内ニハ必ス引渡可致依テ契約書  
差出候也

大阪市北區空町一丁目

供給人 小森元藏代人

富松辰治郎

明治四十三年一月二十八日

排氣瓣購入

京都市參事會  
市長西郷菊次郎殿

明治四十三年一月十四日市參事會ニ於テ排氣瓣九十七個購入ノ議ヲ決ス此ノ豫定價  
參千四百參拾六圓七拾錢同二十五日當業者十名ヲ招集シテ入札ヲ行ヒシニ其ノ結果  
左ノ如シ

一 排氣瓣 自三吋 至六吋 九十七個

此豫定價格金參千四百參拾六圓七拾錢

右配水管布設工事用トシテ專業者十名以上ノ指名競争入札ニ付シ購入セントス入札  
不成立ノ場合ハ隨意契約ニ依ルモノトス

指名入札人

川崎造船所 神戸三菱造船所 大阪鐵工所 東京堅鐵製作所 永瀬鐵工所 東京



石川島造船所 中島三工所 浦賀船渠株式會社 松尼工場 紀野吉鐵工所 芝浦  
 製作所 久保田鐵工所 田中製鐵所 小森鐵工所  
 明治四十三年一月二十五日執行  
 入札結果報告

金額	入札者氏名
三、七〇二・〇〇〇	川崎造船所代 永留小太郎
三、一七六・〇〇〇	大阪鐵工所 藤井常世
一、七〇七・二六〇	久保田鐵工所 久保田權四郎
三、二九〇・〇〇〇	紀野吉鐵工所 栗本勇之助
三、五〇〇・〇〇〇	東京堅鐵製作所 植田六郎平
二、四七五・六六〇	永瀬鐵工所 増田重吉
二、二四五・〇〇〇	松尼工場 松尼廣吉
三、四五〇・〇〇〇	東京石川島造船所
二、三九三・七五〇	天滿小森鐵工所 富松辰治郎

二、四二一・七〇〇

田中製作所 加藤要藏

右ノ結果ニ由リ低廉者久保田權四郎ヲ以テ供給人ト定メ左ノ契約ヲ結フ

### 排氣瓣供給契約書

一 排氣瓣 自三吋至六吋三種 九十七個

但種別及員數内譯ハ別紙仕様書附屬書ノ通

右供給代金壹千七百七圓貳拾六錢也

此契約保證金壹百七拾八圓也

但現金代用軍事公債額面貳百圓也

引渡期限 四十三年八月末日限リ

引渡場所 京都市岡崎公園内鐵管試驗工場内

右金額ヲ以テ前記排氣瓣供給ヲ引受候ニ就テハ明治四十二年一月二十五日京都市公  
 告第六號工事施行規程及左記ノ追加契約事項ヲ遵守シ且ツ仕様書圖面ノ通期限内ニ  
 必ス引渡可致仍テ契約書差出候也

明治四十三年二月五日  
 大阪市南區北高岸町  
 供給人 久保田權四郎



京都市參事會

京都市長西郷菊次郎殿

追加契約事項

第一條 代金内渡ノ場合ハ既納部分ニ對スル代金ノ十分ノ九トス

制水瓣及ベットストック購入

明治四十三年二月八日市參事會ニ於テ制水瓣及ベットストック七十四組ノ議ヲ決ス此ノ豫定價格ヲ五萬五千九百五拾圓トナス同年三月二十五日當業者六名ヲ招集シテ入札ヲ行ヒシニ其結果左ノ如シ仍テ低廉者範多商會ヲ以テ供給人ト定メ請負ヲ契約ス

一、制水瓣及ベットストック 二十吋以上 七十四組  
三十二吋未滿

此豫定價格五萬五千九百五拾圓

右淨水及配水工用トシテ指名入札ヲ以テ購入セントス但落札者ナキトキハ隨意契約ニ依ルモノトス

臨發第二一七號

一 三十六吋制水瓣及ベットストック 十四組  
一 三十吋 同 十組

制水瓣及ベットストック

- 一 二十八吋同
- 一 二十六吋同
- 一 二十四吋同
- 一 二十二吋同
- 一 二十吋 同

- 五組
- 七組
- 二十組
- 十組
- 八組
- 七十四組

計

但供給契約締結ノ日ヨリ六ヶ月以内ニ京都市岡崎公園内鐵管試驗場へ完納ノ

事

右購買入札來ル三月二十五日午後二時當課ニ當テ執行ス入札保證金ハ各自見積價格百分ノ五公債軍事整理ハ額面百圓ニ付八拾七圓ノ割代納差支無之候其他詳細ハ同課ニ就キ承合相成度仕様書明細書圖面相添へ此段及通知候也

追テ添付書類并ニ圖面受領書ト共ニ入札參加ノ有無御回報有之度代人出頭ノ節ハ委任狀御携帶相成度申添候也

明治四十三年二月十二日

京都市臨時事業部總務課

範多商會 森島商會 米國貿易會社 三井物產合名會社 大倉組大阪支店 高田商會



制水瓣及ベツトストック内譯表

徑	淨水費	配水費	計	徑	淨水費	配水費	計
三十六吋	一四	〇	一四	二十四吋	七	一三	二〇
三十吋	一〇	〇	一〇	二十二吋	〇	一〇	一〇
二十八吋	五	〇	五	二十吋	〇	八	八
二十六吋	三	四	七	計	三九	三五	七四

明治四十三年三月二十五日執行

入札結果報告

金額	入札者氏名
四一、一六六・五〇〇	範多商會代 平田重兵衛
五九、三二二・六三〇	三井物産株式會社代 阿部一茂

物品供給契約書

物品供給契約書

四四、〇一〇・〇〇〇	大倉組大阪支店代	高崎良策
六一、一六六・〇〇〇	高田商會代	池田勇

一甲號淨水用制水瓣及「ヘッドストック」 三十九組 内

一三十六吋 十四組 單價 金八百八拾圓七拾六錢參厘  
 一三十吋 十組 同 金六百六圓四拾七錢八厘  
 一二十八吋 五組 同 金五百六拾六圓四錢  
 一二十六吋 三組 同 金五百貳拾八圓參拾八錢四厘  
 一二十四吋 七組 同 金四百六拾貳圓四拾參錢五厘  
 一乙號配水用制水瓣 三十五組

内  
 一二十六吋 四組 單價 金五百參拾四圓貳拾八錢八厘  
 一二十四吋 十三組 同 金四百四拾八圓五拾錢六厘  
 一二十二吋 十組 同 金四百拾六圓五拾四錢七厘  
 一二十吋 八組 同 金參百七拾參圓拾八錢貳厘



此供給代金四萬壹千壹百六拾六圓五拾錢也

此契約保證金四千壹百拾七圓ニ對スル代用

公債證書額面五千壹百五拾圓也

納入場所 岡崎町鐵管試驗工場

引渡期限 契約締結當日ヨリ六ヶ月以内完納

右金額ヲ以テ前記ノ物品供給ヲ引受ケ候ニ就テハ明治四十二年一月二十五日京都市  
公告第六號工事施行規程ヲ遵守シ仕様書及明細書并ニ圖面ノ通期限内ニハ必ス引渡  
可致依テ仕様書相添ヘ契約書差出候也

大阪市西區本田二番町十四番地

合名會社龍多商會大阪支店

龍多龍太郎代理

平田重兵衛

明治四十三年三月三十日

京都市參事會

京都市長西郷菊次郎殿

直形三十六吋鐵管外二  
十七點

### 直形三十六吋鐵管外二十七點購入

明治四十三年九月二日市參事會ニ於テ淨水池ニ要スル三十六吋直形管及外二十七點  
購入ノ議ヲ決ス此ノ豫定價格ヲ貳萬壹千七拾七圓貳錢九厘トナス而シテ從來ノ關係  
ニ由リ特ニ久保田權四郎及田中長兵衛ノ兩人ヲシテ見積書ヲ提出セシメシニ田中長  
兵衛刻下他ニ要急請負アルヲ以テ辭退シ久保田權四郎ハ見積書ヲ提出セシモ價格豫  
定以上ニ達シアルヲ以テ再三交渉ノ後漸ク豫定價格ヲ以テ納入ヲ承諾シタルモ契約  
保證金ハ免除セラレンコトヲ懇請シタルニ付更ラニ市參事會ノ議ヲ經テ之ヲ免除シ  
テ左ノ契約ヲ結ヒタリ

一三十六吋直形鑄鐵管百三十四本外二十七點

此豫定價格貳萬壹千七拾七圓貳錢九厘

右淨水池鐵管布設用トシテ曩ニ鐵管供給契約セシ久保田權四郎及田中長兵衛ノ兩人  
ヨリ見積書ヲ徵シ最抵札ノモノト隨意契約ニ依リ購入セントス

臨發第六八九號

左記鑄鐵管供給見積書左表ニ準シ各單價金額記入至急提出相成度表中未記員數ハ急  
速納入ヲ要スルモノニ付此分及其他ノ分トモ確タル納期記載相成度納入所ハ市内岡  
崎町鐵管試驗場ニ候條此段及通知候也

追テ圖面ハ別便ニテ送附候條御查收次第御一報煩ハシ度候也



物品供給契約書

明治四十三年九月八日

京都市臨時事業部總務課

田中製鐵所  
久保田鐵工所

物品供給契約書

一三六吋鑄鐵管外二十七點

此供給代金貳萬壹千七拾七圓貳錢  
此契約保證金免除

納入場所 京都岡崎町鐵管試驗工場  
引渡期限 別紙仕譯書記載ノ通り

右金額ヲ以テ前記ノ物品供給ヲ引受候ニ就テハ明治四十二年一月二十五日京都市公  
告第六號工事施行規程及左記追加契約事項ヲ遵守シ且仕譯書圖面ノ通期限内ニハ必  
ス引渡可致依テ仕譯書相添ヘ契約書差出候也

明治四十三年十月二十五日

大阪市南區北高岸町八四六番地ノ一

久保田 權四郎

京都市參事會

京都市長西郷菊次郎殿

三十六吋以下鐵管仕譯書

- 追加契約事項
- 一 購入仕譯書ハ京都市水道用鑄鐵管購入仕譯書ニ據ルモノトス
  - 二 物品引渡シ完了以前ニ於ケル内渡代金ハ引渡済ニ對スル代金ノ十分ノ九トス  
以上

三十六吋以下鐵管仕譯書

品目	摘要	數量	品目	摘要	數量
直形鑄鐵管	三十六吋	一三四本	丁字管、フレンジ管、レンヂ分岐管	二十八吋	一
同	三十吋	四	丁字管、ソケット、レンヂ分岐	二十八吋	一
同	十八吋	七三	同	二十六吋	一
同	十六吋	二四	形管	二十八吋	一
同	十六吋	一	ベルマウス管	三十六吋	二
双フレンジ管	長二十六吋	一	同	十八吋	三
同	三十二度半吋	二	同	十八吋	三
同	三十二度	九	同	十八吋	七
同	三十度	一	同	十八吋	七



大正二年三月刊

京都市三大事業誌

水道編

第六集

水道編第五集終

九十度曲管	十	六	時	二	直	八	時	一
シンプル管	十	八	時	五	丁字管	八	時	二
ベルマウス管	十	八	時	二	丁字管	八	時	二
丁字形(フレンド)	六十	八	時	一	凸形	十	時	二
丁字形(ソケット)	六十	八	時	一	凹形	十	時	二
丁字形(ソケット)	六十	八	時	一	管	十	時	二
丁字形(ソケット)	六十	八	時	一	管	十	時	二
丁字形(ソケット)	六十	八	時	一	管	十	時	二
丁字形(ソケット)	六十	八	時	一	管	十	時	二
同上	六十	二	時	一	計	八	時	二
同上	六十	二	時	一		八	時	一

一四八



# 京都市三大事業誌

## 水道編

### 第六集

#### 市會記事

- 一 市會ニ於ケル水道議事ハ明治三十九年十一月ニ起リ大正元年十一月ニ終ル前後數十回今年月ノ次第ニ由リ之ヲ記ス
- 一 市會記事ハ市會議事録ニ因リタレトモ勉メテ繁ヲ避ケ簡ニ從ヒタルヲ以テ議事ノ形式ノ如キハ之ヲ省キタリ
- 一 水道議案ハ始メハ第二疏水工事ト聯帶シ中途ニシテ又道路擴築軌道敷設事業ヲ加ヘ以テ三事業ナル名稱ノ下ニ提出スルコトナレリ故ニ歲入ハ常ニ三者ヲ聯結セシ爲メ一事業毎ニ之ヲ分割スルコト能ハス是レ已ムヲ得ス之ヲ省畧シ又臨時事業委員規程ノ如キ工事施行規程ノ如キハ既ニ疏水編ニ記載シタル爲メ之ヲ除キ又資本金即チ借款事件ハ此ノ三事業ニ關シ尤モ緊要ナルモノナレトモ其ノ終局ノ計算ハ道路擴築軌道敷設事業ノ結了スルニ非ラザレハ其ノ詳細ヲ知ルコト能ハサルヲ以テ之ヲ道路編ニ譲リタリ



一 水道議事ハ明治三十九年十一月ヲ以テ初會トナス當時第二疏水事業ノ工費更正案モ亦提出  
セラレタル爲メ議場ノ論議往々兩項ニ涉ルモノアリ須ラク疏水編第八集ト參照スヘシ

目次

- 一 明治三十九年  
第九十六號 十一月二十五日  
水道費豫算
- 一 第一百二號 十二月十六日  
三十九年度歳入出豫算
- 一 明治四十年  
第三十五號 三月三十日  
四十年年度歳入出豫算
- 一 第四十七號 四月二十九日  
四十年年度歳入出追加豫算
- 一 報告第八號 八月二十八日  
三十九年度歳入出決算

- 一 第一百七號 十一月十四日  
自四十年年度至四十二年年度歳入出豫算
- 一 第一百八號 十一月十四日  
工費支出年度割變更
- 一 明治四十一年  
第五號 一月二十七日  
水道給水規則
- 一 第四十五號 四月六日  
四十年年度歳入出更正及追加豫算
- 一 第五十一號 四月六日  
四十一年度歳入出豫算
- 一 第六十九號 六月二日  
四十一年度歳入出追加豫算
- 一 報告第七號 八月二十八日  
四十年年度歳入出決算

明治四十二年



- 第一號 二月二日  
水道費豫算更正
- 第十號 二月二十七日  
四十一年度歲出更正豫算
- 第二十五號 三月十日  
四十二年度歲入出豫算
- 第四十四號 四月二日  
水道用地買收補償訴訟事件
- 第五十號 四月二十一日  
同伴
- 第五十一號 四月二十一日  
同伴
- 第七十二號 六月十九日  
水道豫算年度其他變更
- 第七十四號 六月十九日  
自四十年至四十二年度歲入出豫算更正
- 報告第三號 六月十九日  
公共棧改稱

- 第七十八號 七月十七日  
水道敷設用地交換
- 第八十七號 八月十七日  
水道敷地寄附
- 報告第九號 九月十六日  
四十一年度歲入出決算
- 第百號 十月十二日  
水道用地買收訴訟和解
- 明治四十三年
- 第四號 一月十八日  
四十二年度歲入出豫算更正及追加
- 第三十六號 三月七日  
水道用地買收訴訟和解
- 第四十七號 三月二十九日  
四十三年度歲入出豫算
- 第六十九號 五月三十日  
四十三年度歲入出追加豫算
- 報告第八號 十月二十八日